

**尾鷲市まちづくりに関するアンケート調査
結果報告書**

平成 26 年 9 月

【目次】

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	2
2. 調査概要	2
3. 報告書の見方	2
II. 調査の結果	3
1. 回答者について	4
2. 本市での生活について	7
3. これからのまちづくりについて	14
4. 暮らしの満足度と今後の重要度について	47
III. 調査票	57

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は「第6次尾鷲市総合計画」の進行管理にあたり、市民の皆様のご意見を反映すべく、またこれからのまちづくりに関してどう考えているのかを把握するためアンケート調査を実施しました。

2. 調査概要

調査区域 : 尾鷲市全域
調査対象 : 18歳以上の市民から1,000人を無作為抽出
調査時期 : 平成26年3月
配布数 : 1,000票
回収数 : 368票
回収率 : 36.8%

3. 報告書の見方

回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。

図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。

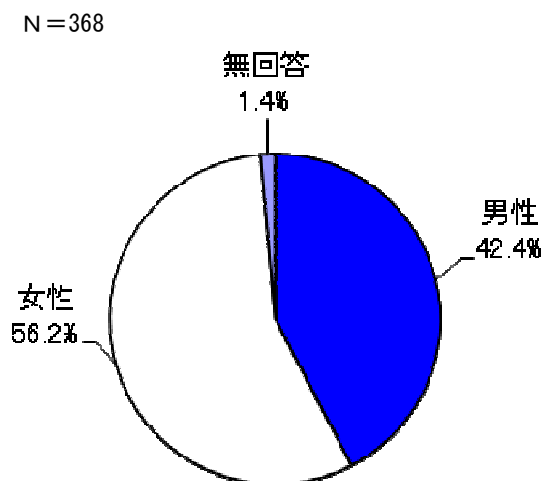
グラフ及び表の「N数 (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。

II. 調査の結果

1. 回答者について

問1 あなたの性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「女性」が56.2%、「男性」が42.4%、無回答が1.4%となっています。

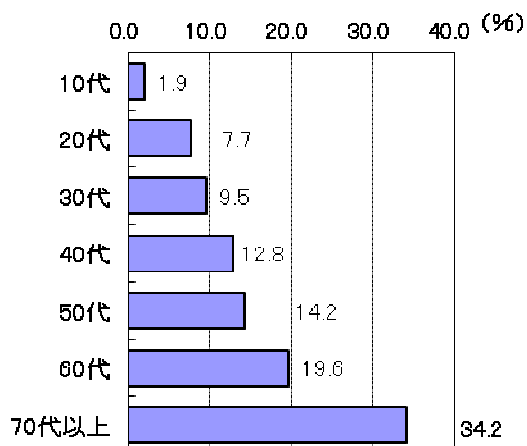
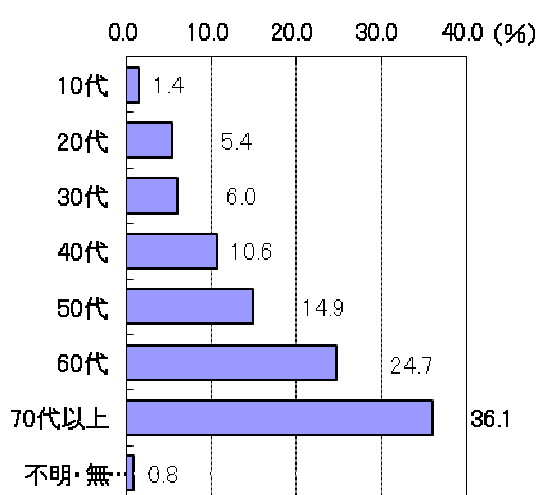


問2 あなたの年齢をお聞かせください。

回答者の年齢は、「60代」が24.7%、「70代以上」が36.1%と、60代以上が6割を占めています。住民基本台帳の人口割合と比較すると、「50代」「60代」「70代以上」で実際の割合より高く、その他の年代では低くなっています。

N=368

(参考)：住民基本台帳平成26年3月現在



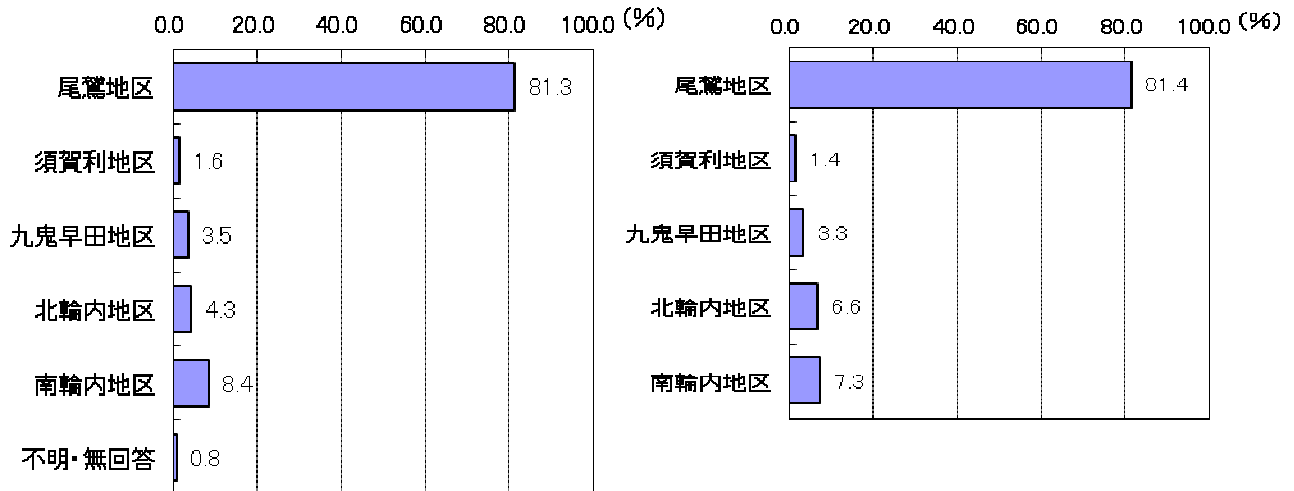
※調査対象である18歳以上の人口の年齢構成比。10代は18、19歳のみ。

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

回答者の居住地区は、「尾鷲地区」が 81.3%と大半を占めています。住民基本台帳の人口割合と比較すると、ほぼ同じ割合となっています。

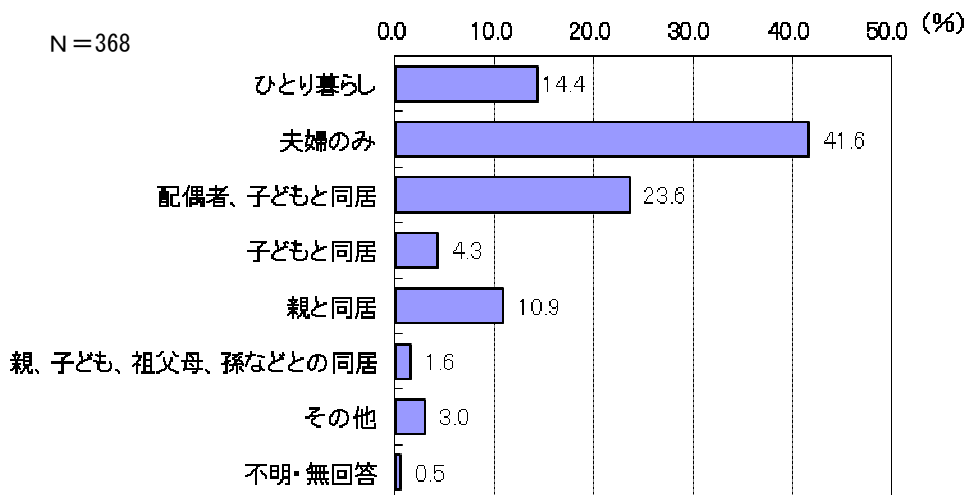
N=368

(参考)：住民基本台帳平成 26 年 3 月現在



問4 あなたの世帯の状況を教えてください。

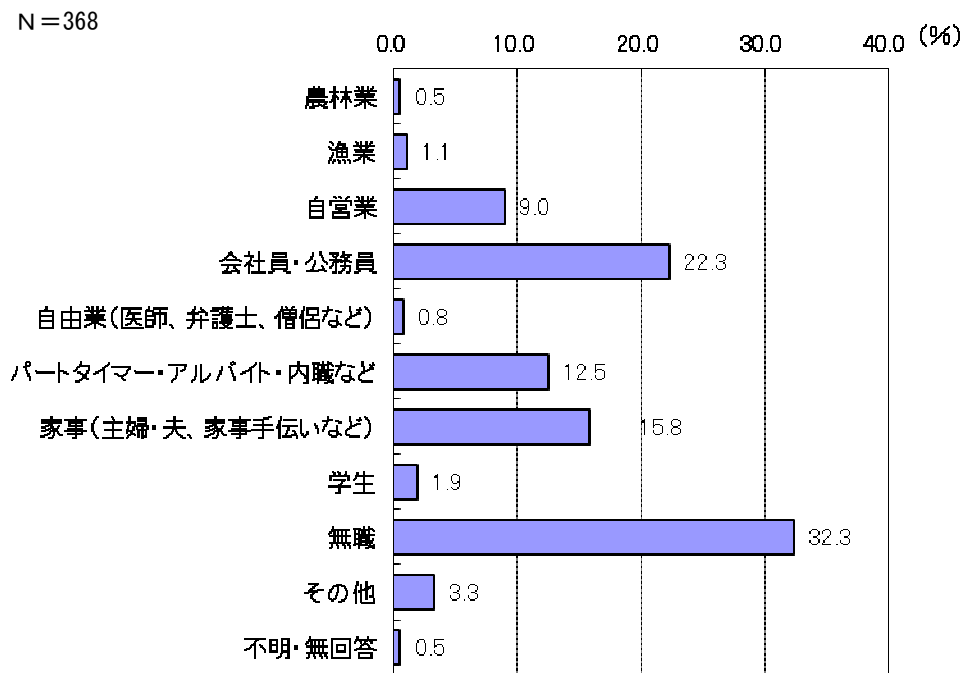
回答者の世帯の状況は、「夫婦のみ」が 41.6%、「配偶者、子どもと同居」が 23.6%、「ひとり暮らし」が 14.4%となっています。



その他
グループホーム入居
親・妻・子
息子・嫁・孫
同居人1人
単身赴任中
子ども・孫

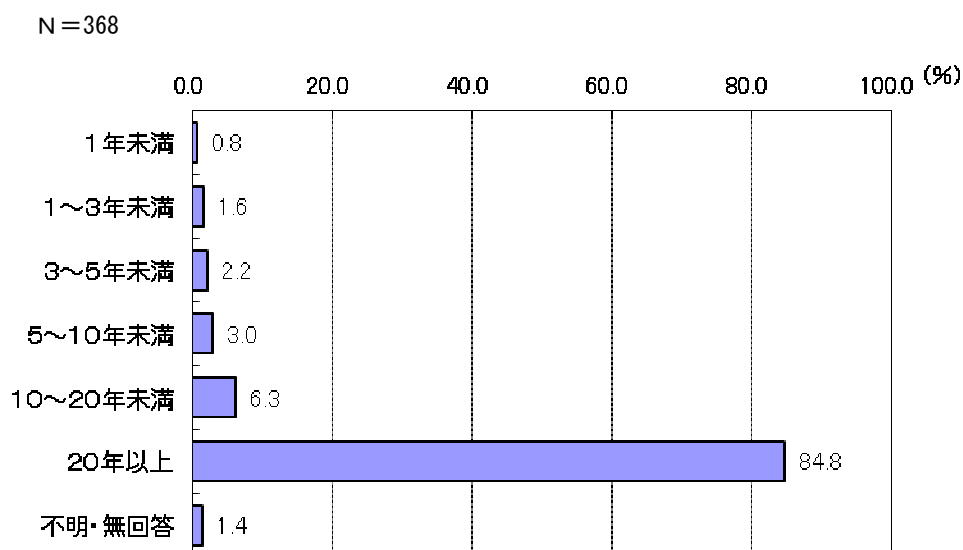
問5 あなたの主な職業をお聞かせください。

回答者の職業は、「無職」が 32.3%、「会社員・公務員」が 22.3%、「家事（主婦・夫、家事手伝いなど）」が 15.8%となっています。



問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

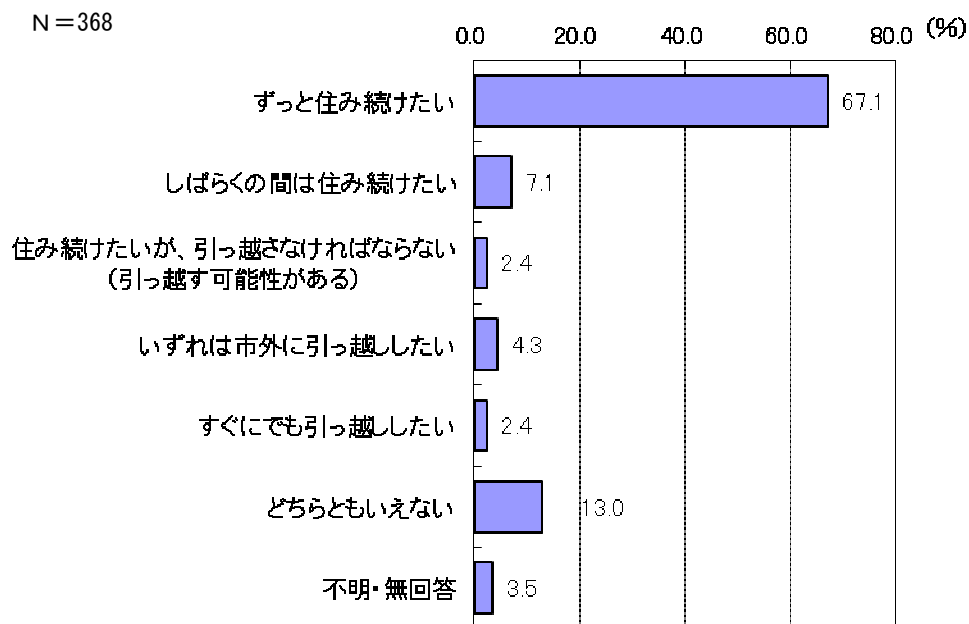
回答者の居住年数は、「20年以上」が 84.8%と大半を占めています。



2. 本市での生活について

問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

定住意向は、「ずっと住み続けたい」が67.1%、「しばらくの間は住み続けたい」が7.1%となっており、合計で74.2%と約4分の3を占めています。



問7×年代

定住意向を年代別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「60代以上」では8割近くになっているのに対し、「10代～50代」では5割程度と年代による差が見られます。



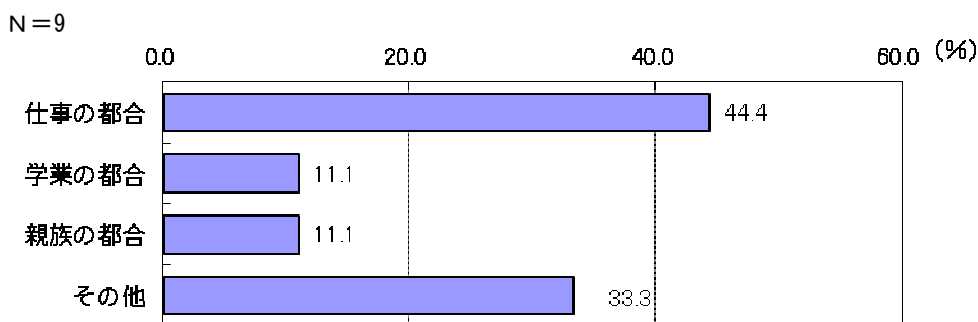
問7×居住地区

定住意向を地区別に見ると、「ずっと住み続けたい」は、「尾鷲地区以外」の方が若干高くなっています。



問8 【問7で「住み続けたいが、引っ越さなければならない(引っ越す可能性がある)」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。

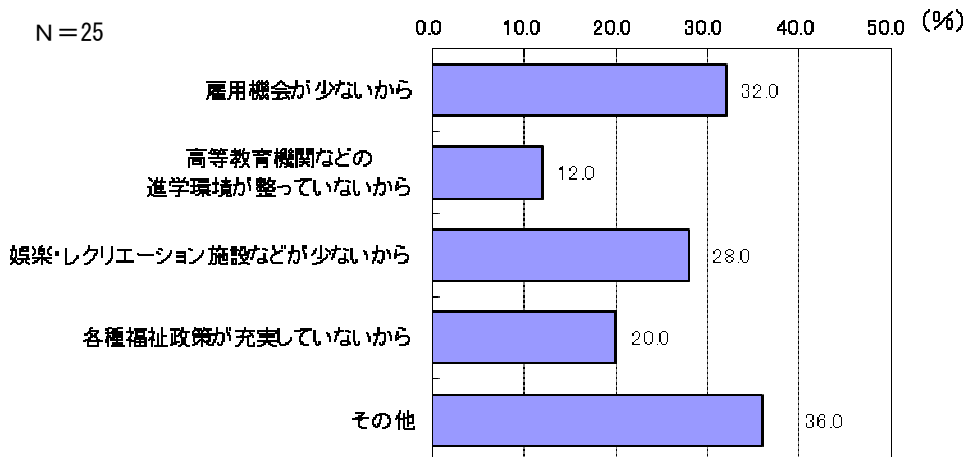
引っ越さなければならない理由は、「仕事の都合」が44.4%と最も高くなっています。



その他	
子供のところへ行く	
病弱、津波	
老齢による生活で不安。いずれは子供のところへ?	

問9 【問7で「いずれは市外に引っ越したい」または「すぐにも引っ越したい」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越したい理由は何ですか。

引っ越したい理由は、「雇用機会が少ないから」が32.0%、「娯楽・レクリエーション施設などが少ないから」が28.0%となっています。

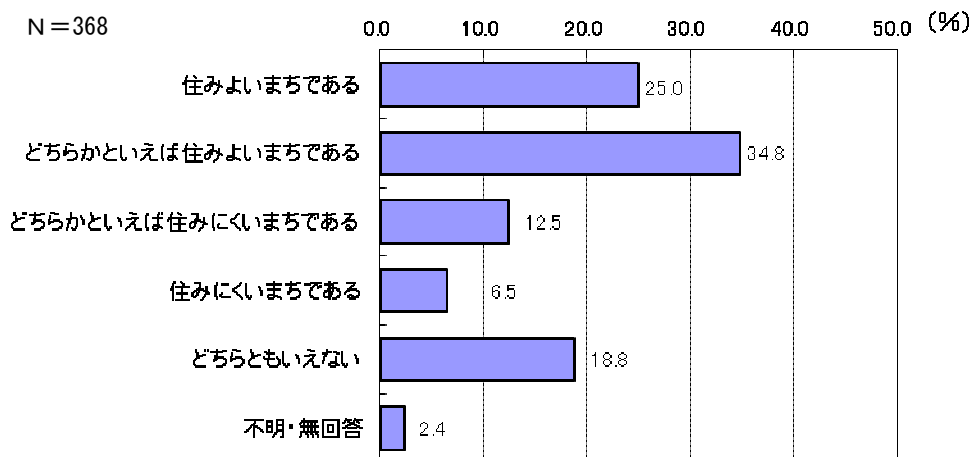


※複数回答があったため、合計が100%を超えています。

その他
医療機関が今全て名古屋に通っているから
ゴミ袋も高いから(他の地区と比べて)
尾鷲市の気候(湿度や雨が多い)が体調に良くないため
海外移住を考えているから
交通の便が悪いから
空気は悪いし不便だし田舎のいい所がない
子供の近くへ住みたい
閉鎖的人間性

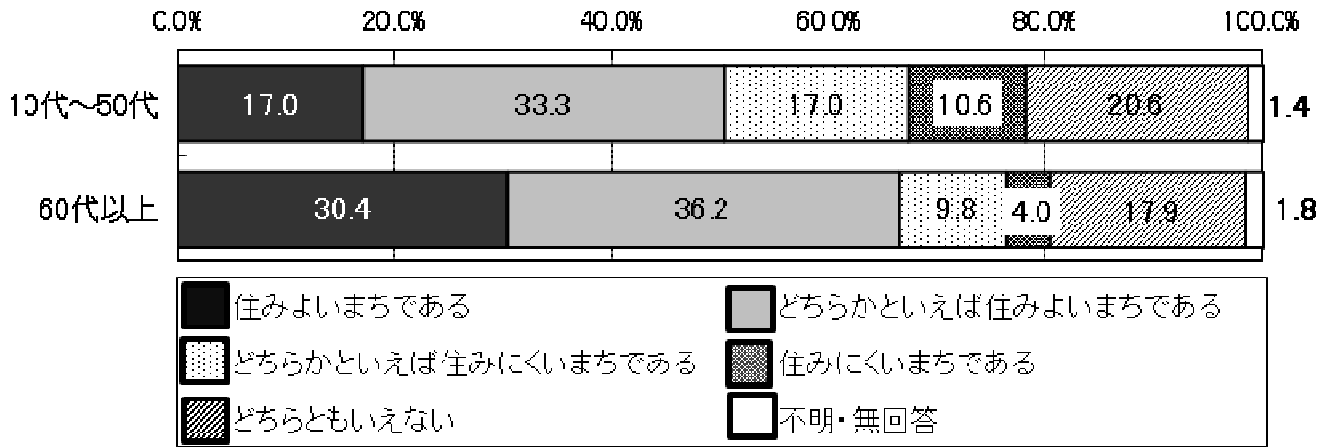
問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。

尾鷲市全体の評価として、「どちらかといえば住みよいまちである」が34.8%、「住みよいまちである」が25.0%となっており、合計で59.8%が「住みよいまち」であるとしています。



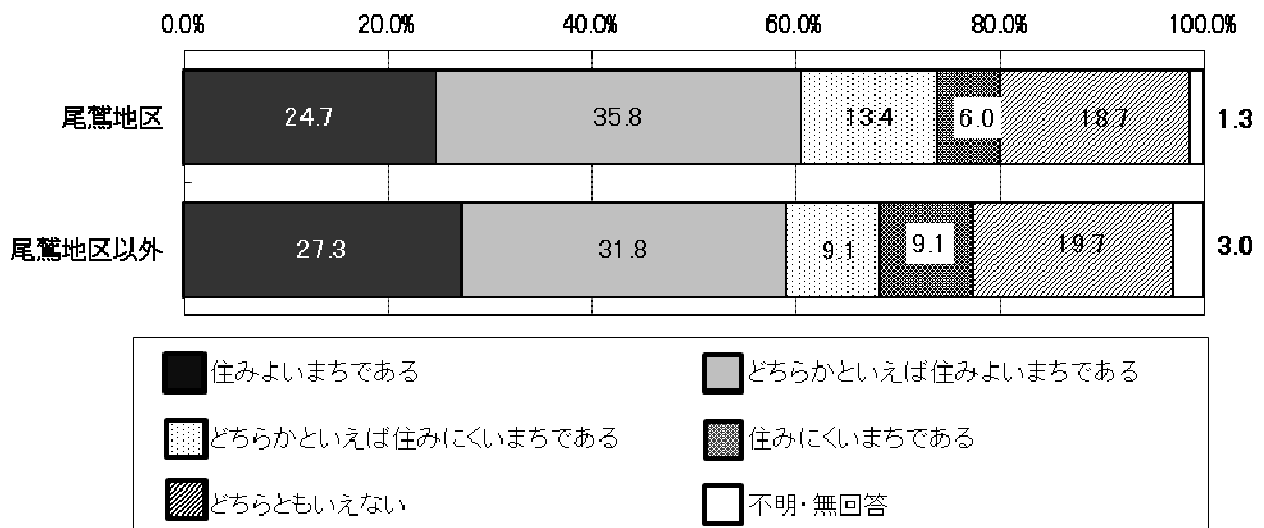
問 10×年代

尾鷲市全体の評価を年代別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「60代以上」では7割近くになっているのに対し、「10代～50代」では5割程度と年代による差が見られます。



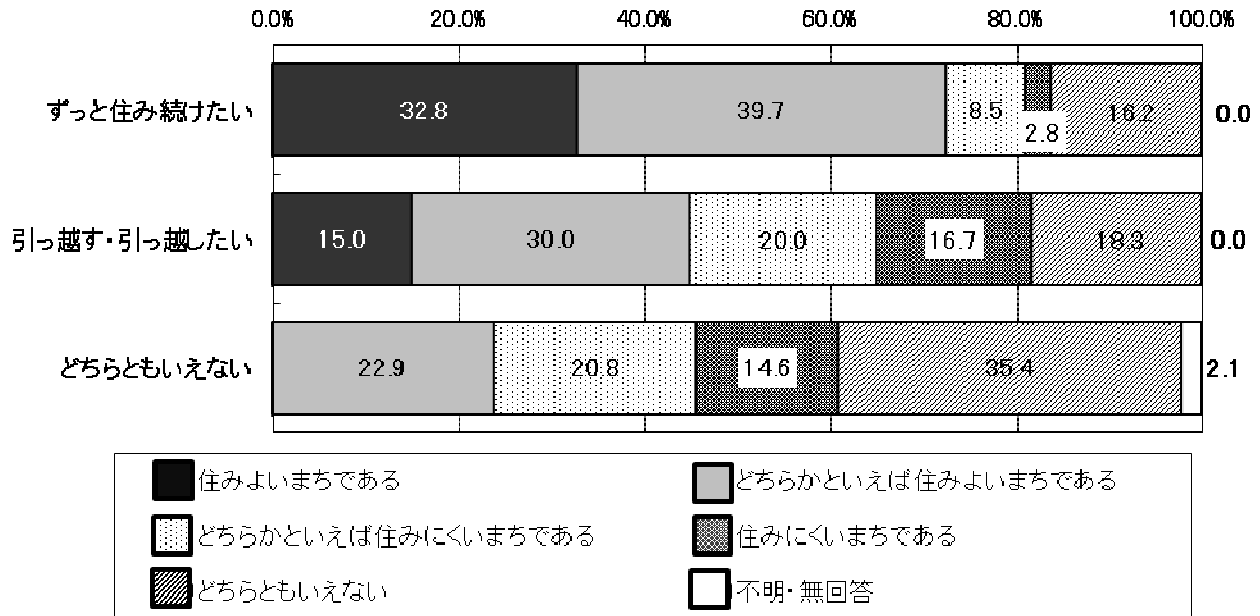
問 10×居住地区

尾鷲市全体の評価を地区別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「尾鷲地区」、「尾鷲地区以外」ともに6割程度となっており、地区による差はほとんど見られません。



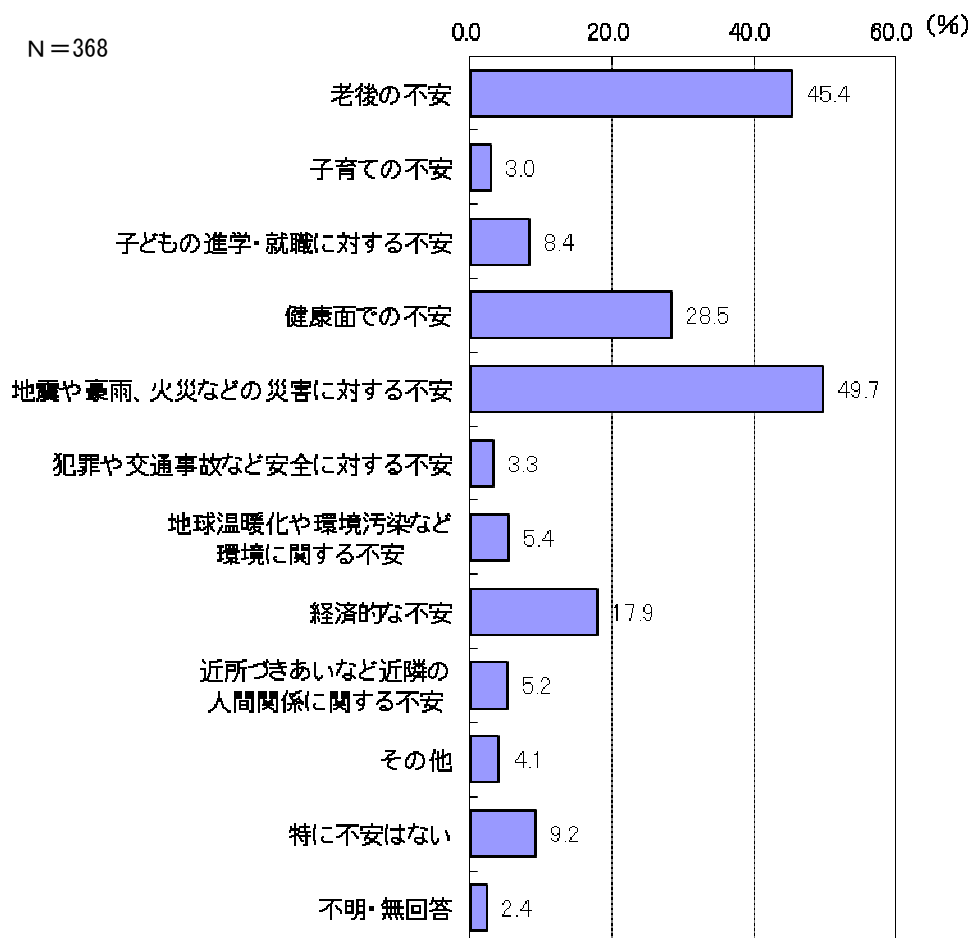
問 10×定住意向

尾鷲市全体の評価を定住意向別に見ると、「住みよいまちである」と「どちらかといえば住みよいまちである」の合計は、「ずっと住み続けたい」と答えた方では7割以上となっているのに対し、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では5割に満たず、定住意向による差が見られます。



問 11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。(複数回答)

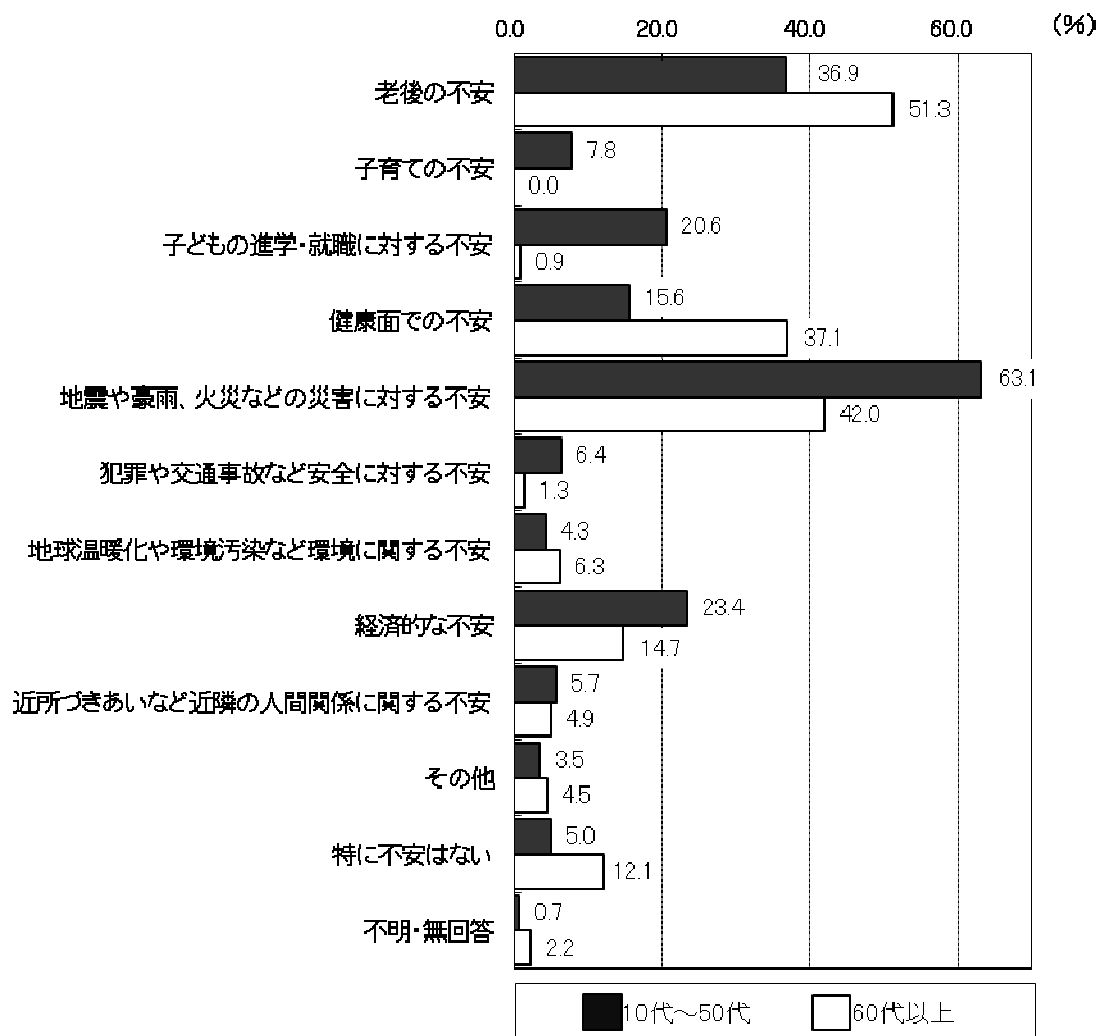
現在不安に感じていることとして、「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」が49.7%、「老後の不安」が45.4%、「健康面での不安」が28.5%となっています。



その他	件数
市や県など行政への不安	3
働く場が少ない	2
騒音、煙害	1
ひとり暮らしの不安	1
景気が良くなってほしい	1
コリアン	1
子どもの将来(障がいあり)	1
生活保護者などが町を悪くし、人間関係がダメになっていく(昔と違い助け合いができない)	1
年を重ねると様々な不安はいつも身近に起こってくるが、それを受け入れ、一日一日を大事に生きるしかない「吾唯足知」です	1
尾鷲市リーダーの人材難	1

問 11×年代

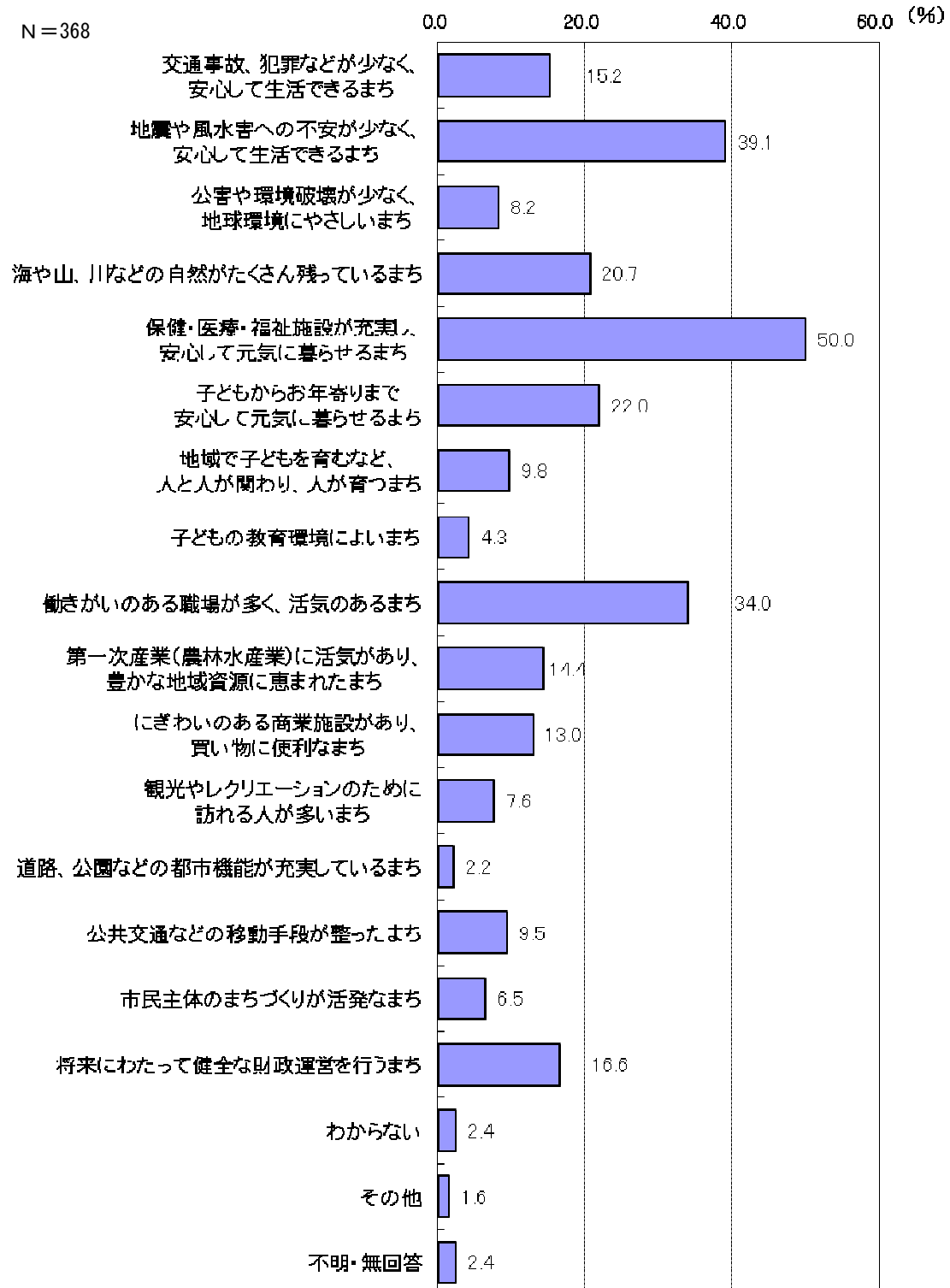
現在不安に感じていることを年代別に見ると、「老後の不安」や「健康面での不安」では「60代以上」が高く、「子どもの進学・就職に対する不安」や「地震や豪雨、火災などの災害に対する不安」では「10代～50代」の方が高くなっています。



3. これからのまちづくりについて

問 12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。
(複数回答)

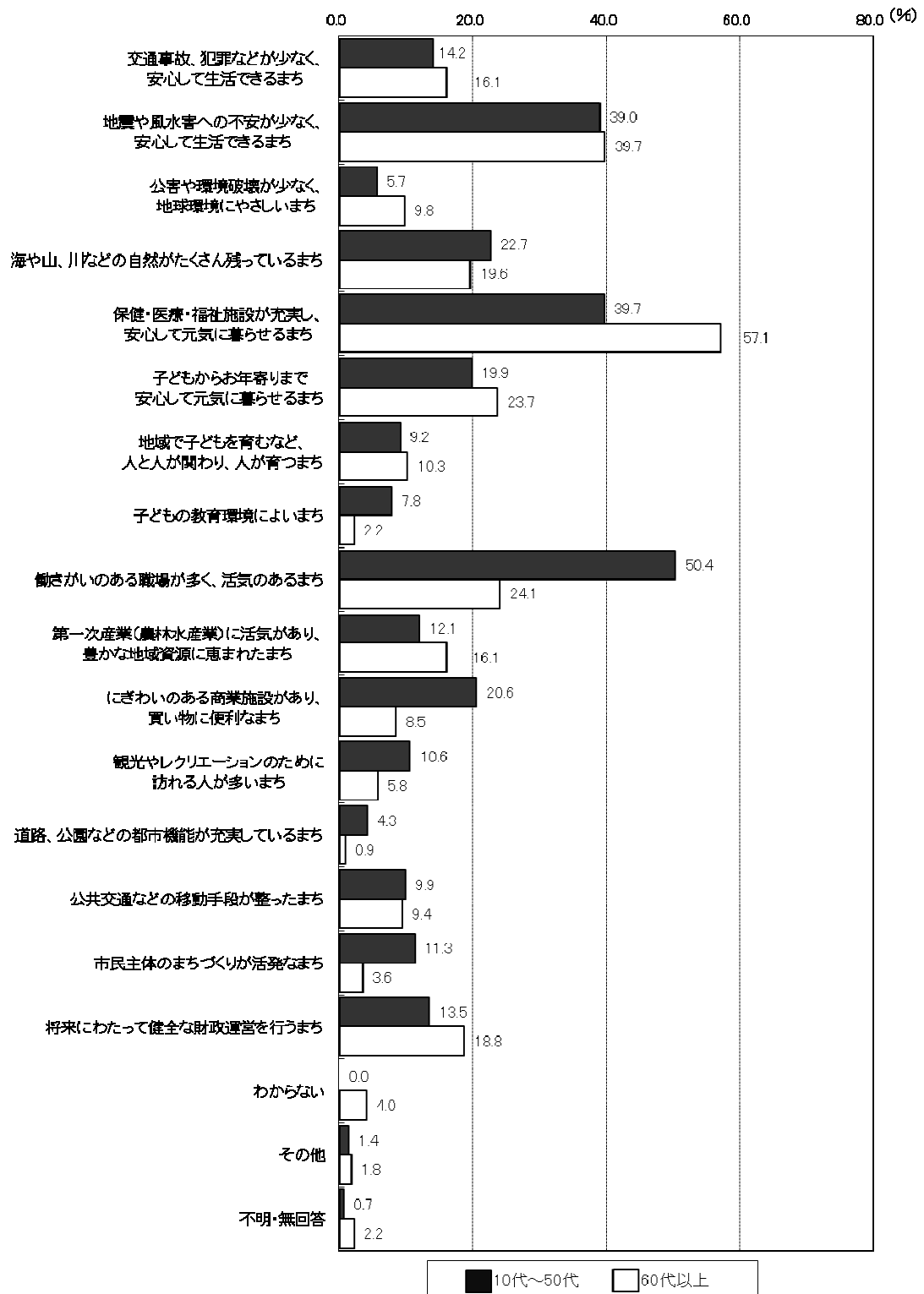
尾鷲市の将来イメージで希望するものとして、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が 50.0%、「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が 39.1%、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」が 34.0%となっています。



その他
年寄りでも楽しく働ける環境づくり
暖かく老後生活するに快適である。
高校を卒業しても地元に残りたくても良い就職先が無い
他の県から来た(嫁)人たちが多く実家へ戻るときいたことがある。
いずれの項目も大切な課題である。これらが総合的に実現されてこそ子供から老人まで住み良い街が創られていくのではないでしょう。昔から尾鷲の街は自然に恵まれ海山の幸に多くの恩恵を受け人情も豊かな地域に多くの人がかかわり、それぞれの分野で力を発揮できるような仕組みをつくって下さい。行政がしっかりと10年30年50年…100年先の街はどうなっているべきか指針をつくり、目先の利益のみ追うのではなく、中・長期的な視点で市民に示して下さい。そしていろいろな角度から市民の意見をとりまとめて、街づくりをすすめて下さい。90才を越え山に木を植える、先人達の想いは故郷への厚い将来へのメッセージです。
車が乗れなくなっても買い物や通院で不便にならない公共サービスの充実や尾鷲病院特にリハビリテーション科の内容の充実

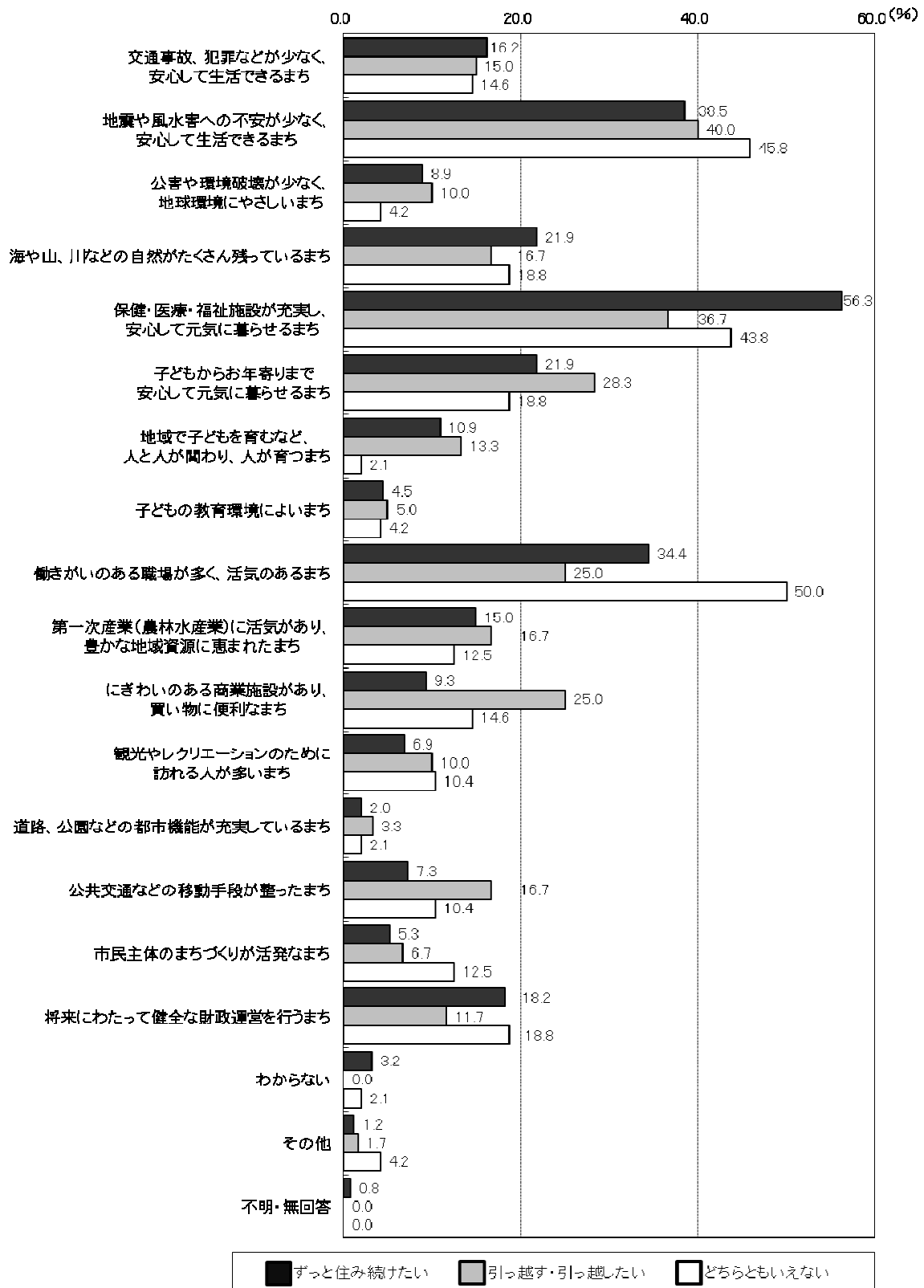
問 12×年代

尾鷲市の将来イメージで希望するものを年代別に見ると、「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」や「将来にわたって健全な財政運営を行うまち」では60代以上が高く、「働きがいのある職場が多く、活気のあるまち」や「にぎわいのある商業施設があり、買い物に便利なまち」では「10代～50代」が高くなっています。



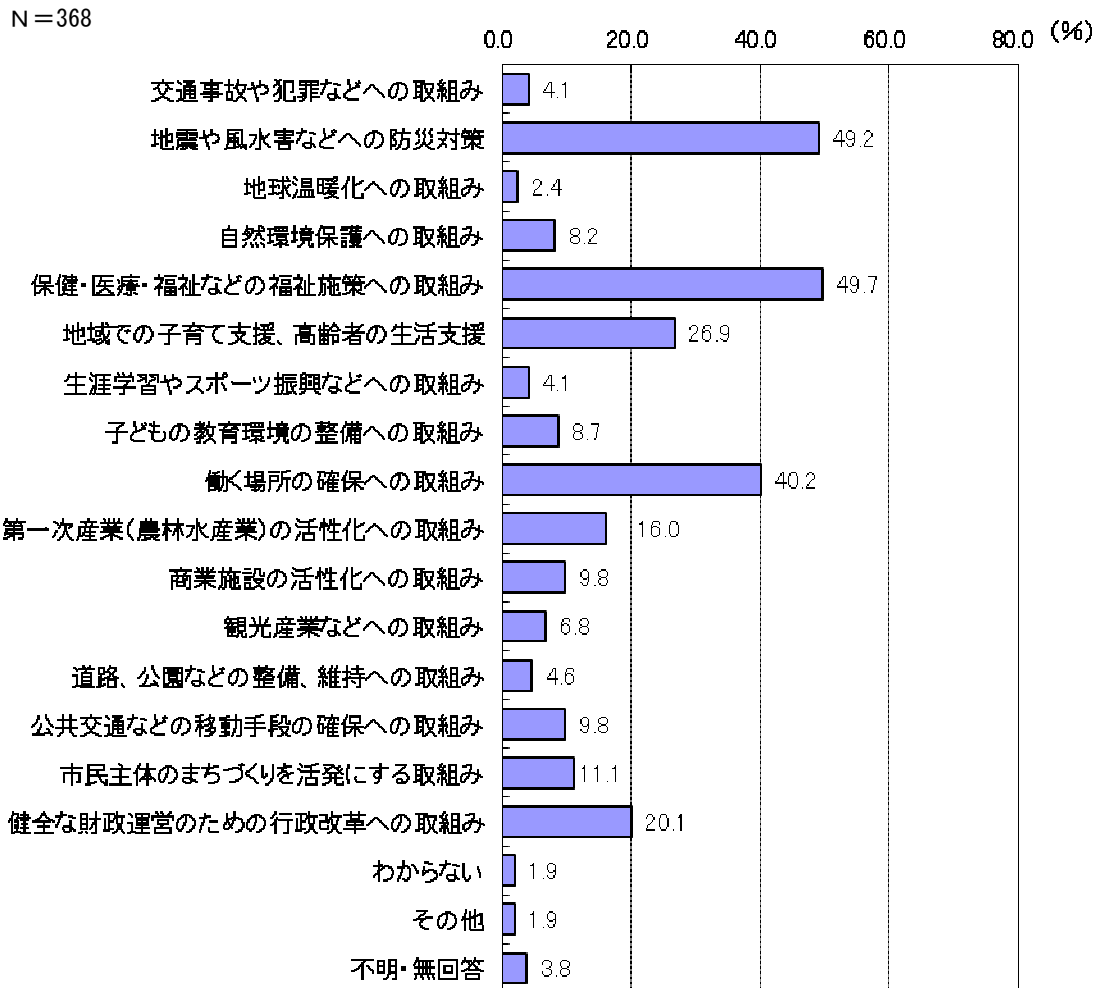
問 12×定住意向

尾鷲市の将来イメージで希望するものを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」と答えた方では「保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち」が高く、「引越す・引越したい」と答えた方では「地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち」が高くなっています。



問 13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。（複数回答）

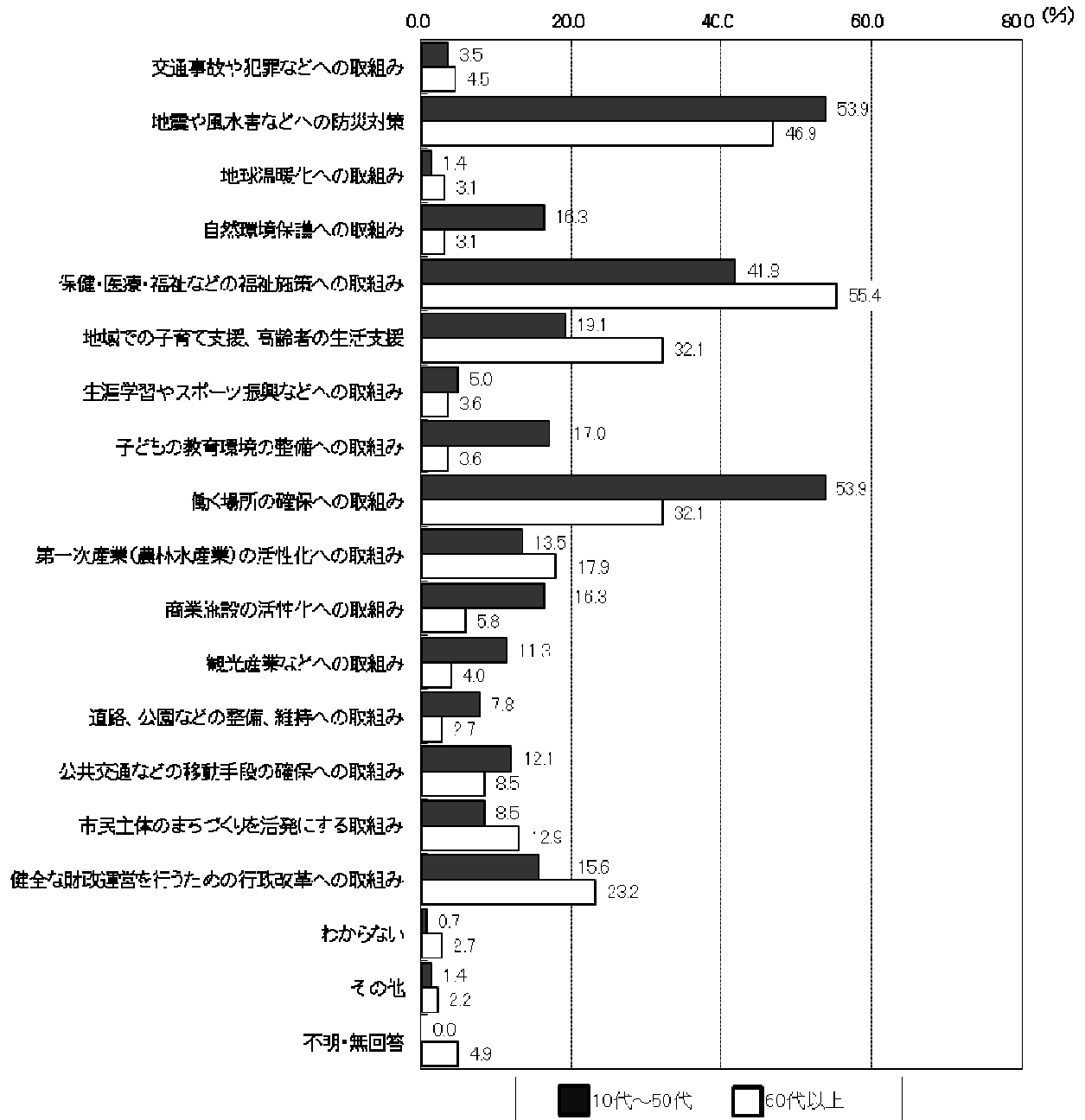
これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みとして、「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が49.7%、「地震や風水害などへの防災対策」が49.2%、「働く場所の確保への取り組み」が40.2%となっています。



その他
経済格差のない尾鷲・人に優しい市民づくり
高校を卒業しても地元に残りたくても良い就職先が無い
市職員の人材育成
市職員の人材育成、やる気の向上等々教育が必要
いずれも大切な事ばかりですが、これらの問題が思う様に進まないのほどに問題があるか、広報などで知らせてほしい
体力が衰えても維持できるようなりハビリやトレーニングできるサービスや子どもから大人まで市民が利用できる施設の充実、指導者の確保
若者が他県に出ていなくても地元で仕事ができる町

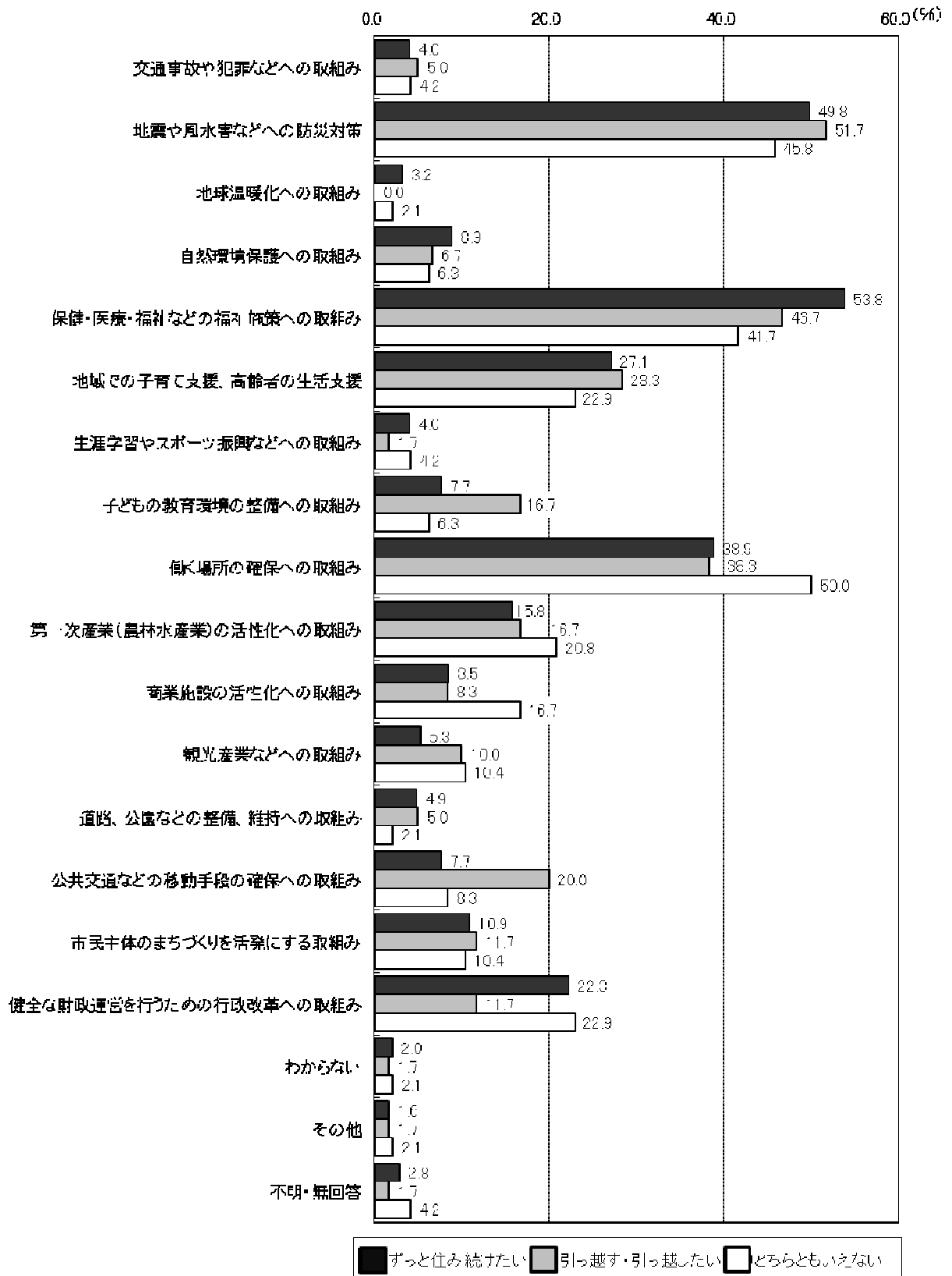
問 13×年代

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを年代別に見ると、60代以上では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が、10代～50代では「働く場所の確保への取り組み」が最も高くなっています。



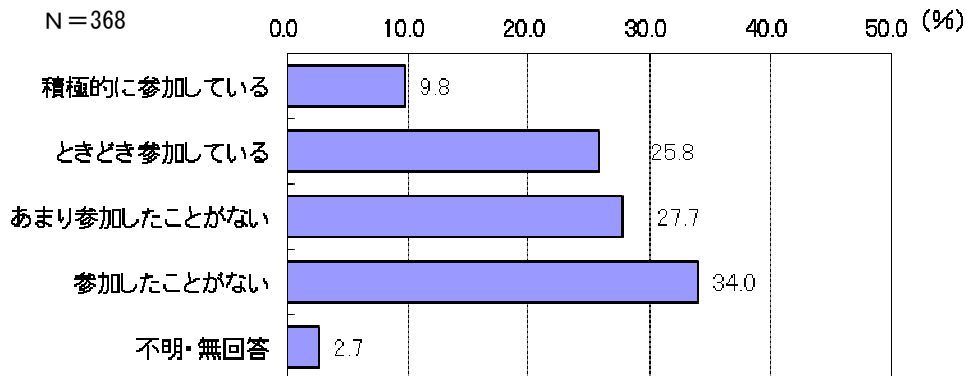
問 13×定住意向

これからのまちづくりで尾鷲市が進めるべき取り組みを定住意向別に見ると、「ずっと住み続けたい」と答えた方では「保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み」が高く、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では「働く場所の確保への取り組み」が高くなっています。



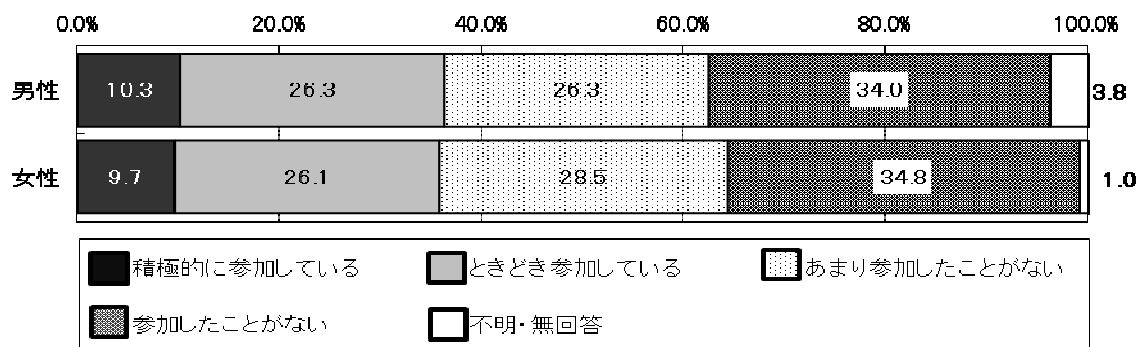
問 14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況として、「ときどき参加している」が25.8%、「積極的に参加している」が9.8%と、「参加している」層は約3割となっています。



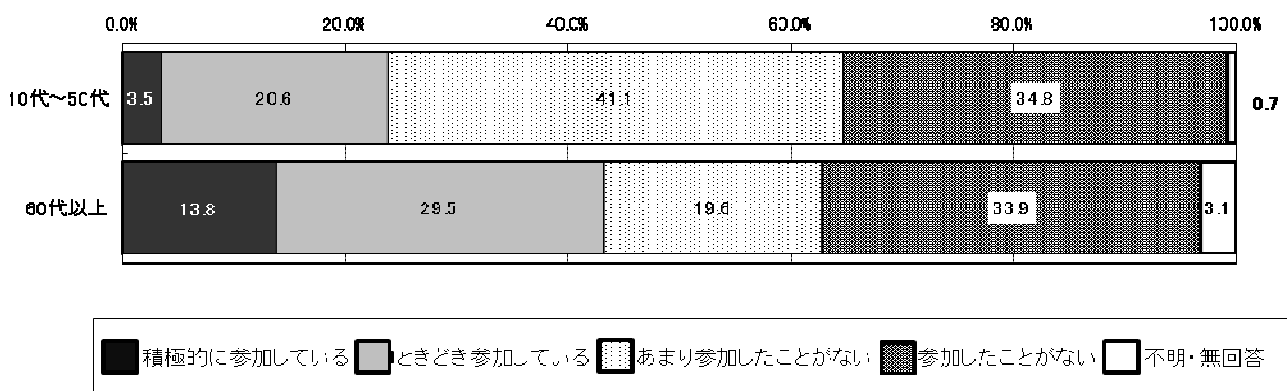
問 14×性別

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を性別ごとに見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計は、「男性」の方が若干高くなっています。



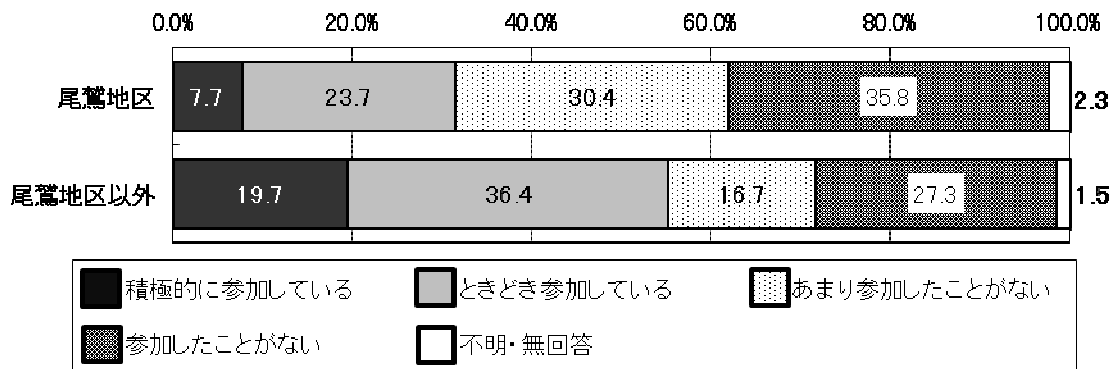
問 14×年代

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を年代別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「10代～50代」では4割程度であるのに対し、「60代」では5割以上となっています。



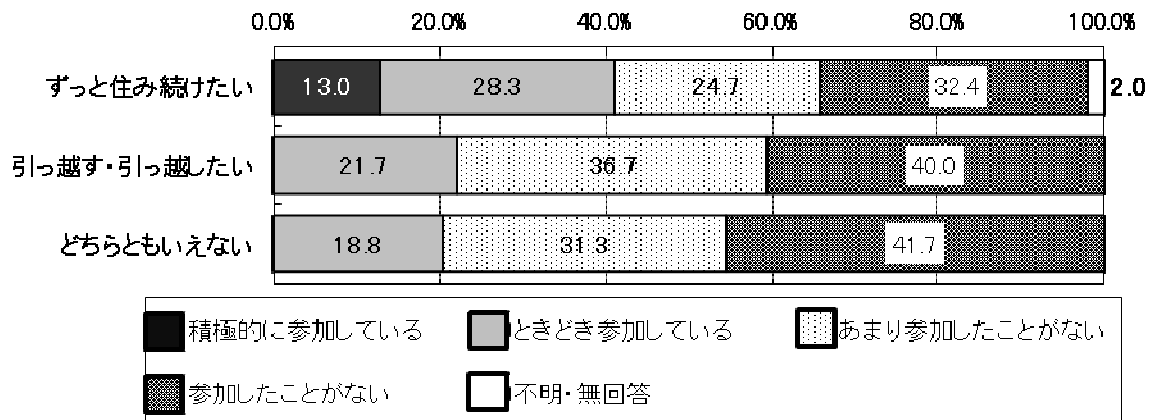
問 14×地区

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を地区別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「尾鷲地区」では3割程度であるのに対し、「尾鷲地区以外」では5割以上となっています。



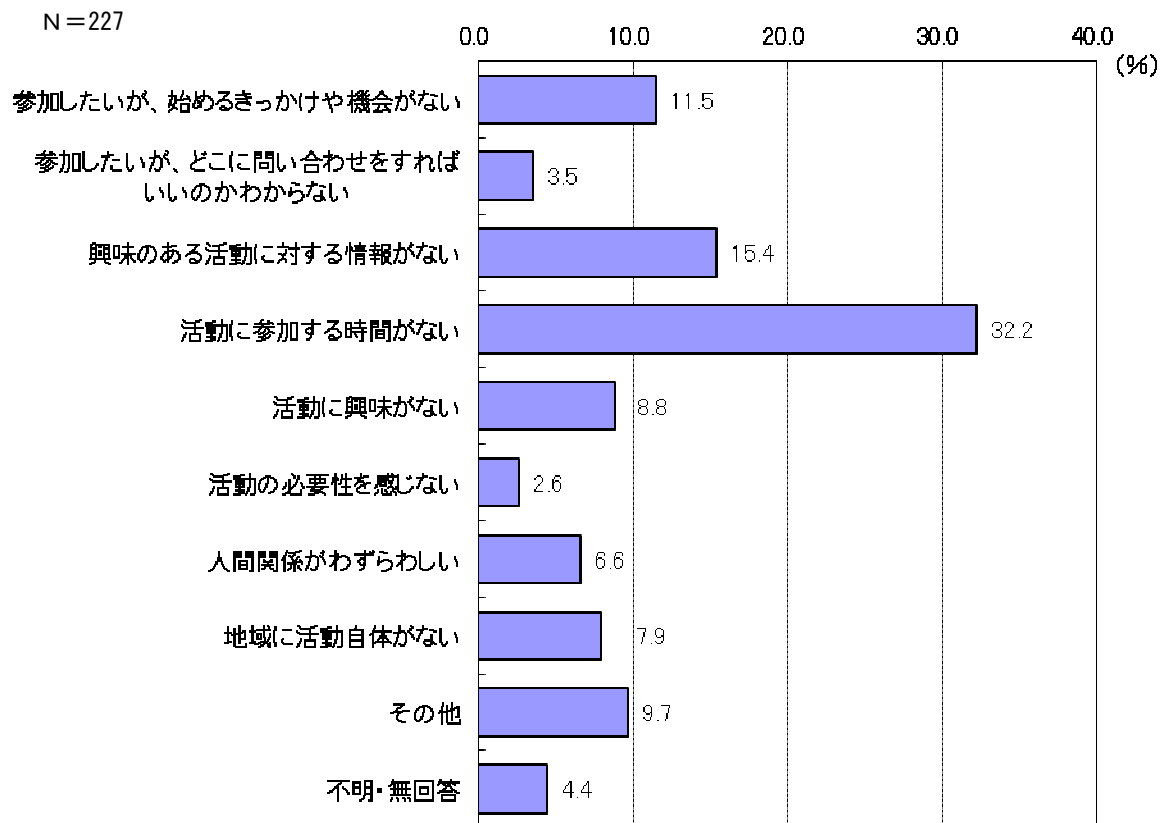
問 14×定住意向

地区の行事やボランティアなどの活動への参加状況を定住意向別に見ると、「積極的に参加している」と「ときどき参加している」の合計が、「引っ越す・引っ越したい」と答えた方では3割に満たないのに対し、「ずっと住みたい」では4割以上となっています。



問 15 【問 14 で「あまり参加したことがない」または「参加したことがない」とお答えになった方におうかがいします。】「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由として、「活動に参加する時間がない」が 32.2%、「興味のある活動に対する情報がない」が 15.4%となっています。

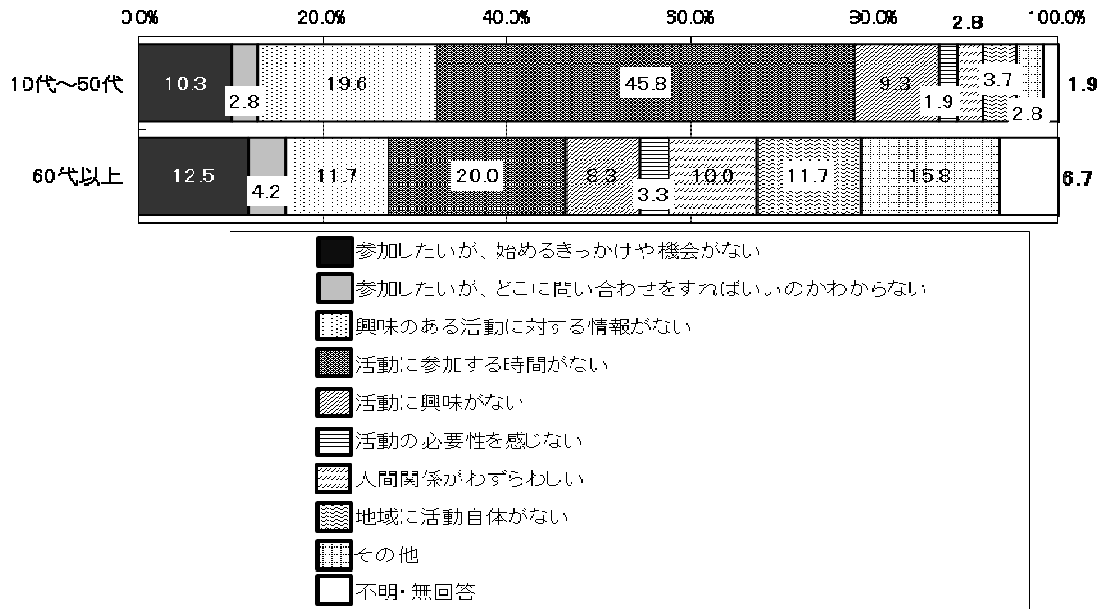


※複数回答があったため、合計が 100%を超えています。

その他	件数
病気・身体上の理由	6
高齢のため	5
仕事のため	3
職業がボランティアのような為	1
自身の保持がいっぱい	1
参加したら、この前どこそこに行ったと言われたり、次は私のところに…と誘われるのがイヤ！	1
どういう活動があるか知らない	1
サークル活動の場所(地域)に月一回参加している	1

問 15×年代

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を年代別に見ると、「活動に参加する時間がない」の割合は、「10代～50代」が「60代以上」に比べ2倍以上となっています。



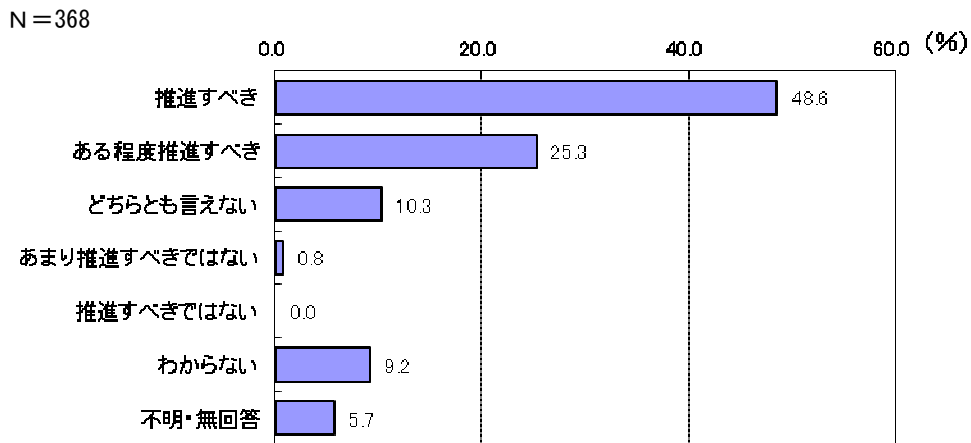
問 15×地区

地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがない理由を地区別に見ると、「参加したいが、始めるきっかけや機会がない」では「尾鷲地区」の方が高く、「活動に興味がない」「活動の必要性を感じない」では、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



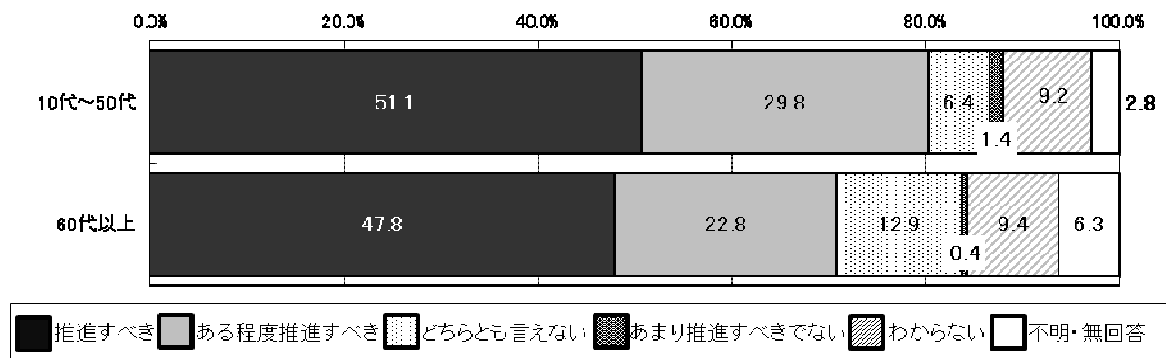
問 16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

市民みなで目標達成のために取り組むことについて、「推進すべき」が48.6%、「ある程度推進すべき」が25.3%と、「推進」した方が良いとの回答が7割以上となっています。



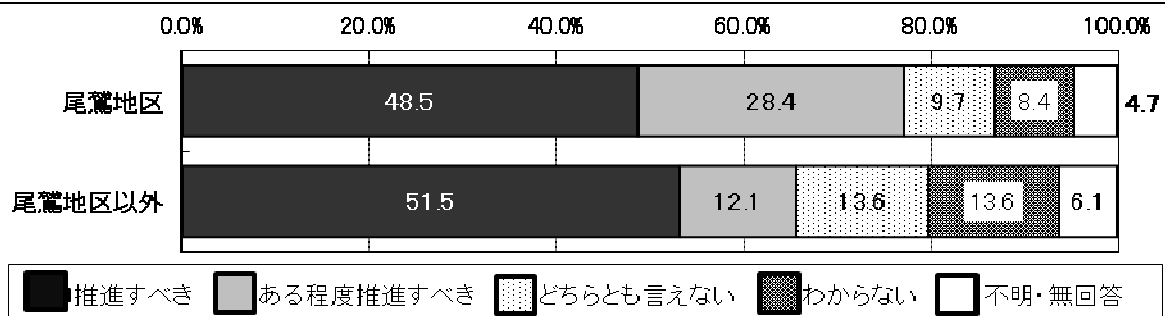
問 16×年代

市民みなで目標達成のために取り組むことについて年代別に見ると、「推進すべき」では、「10代～50代」の方が高くなっています。



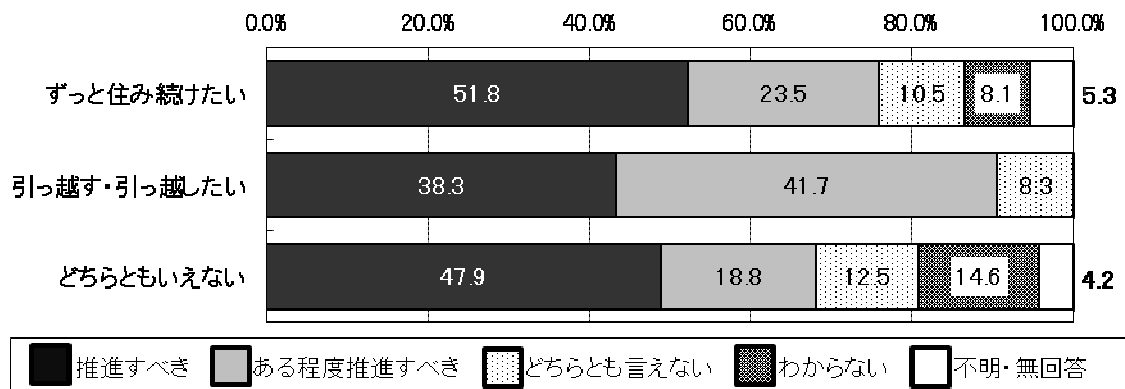
問 16×地区

市民みなで目標達成のために取り組むことについて地区別に見ると、「推進すべき」では、「尾鷲地区以外」の方が高くなっています。



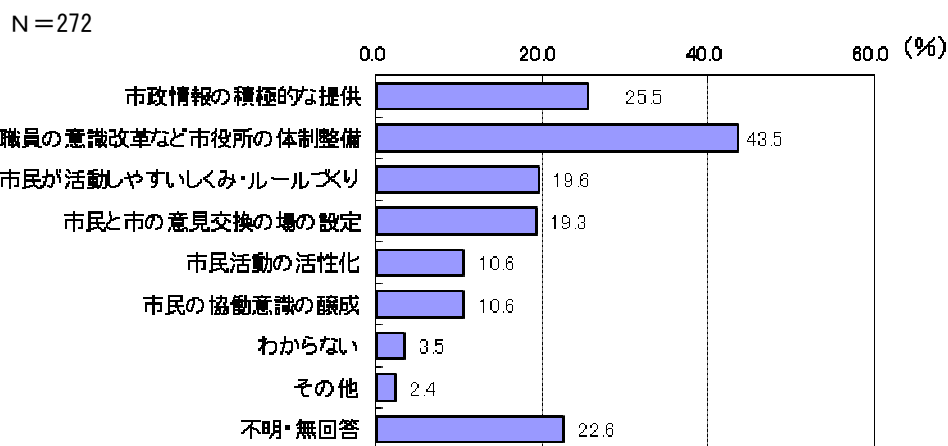
問 16×定住意向

市民みんなで目標達成のために取り組むことについて定住意向別に見ると、「推進すべき」では、「ずっと住み続けたい」を選んだ方が高くなっています。



問 17 【問 16 で「推進すべき」または「ある程度推進すべき」とお答えになった方におうかがいします。】市民との協働のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。（複数回答）

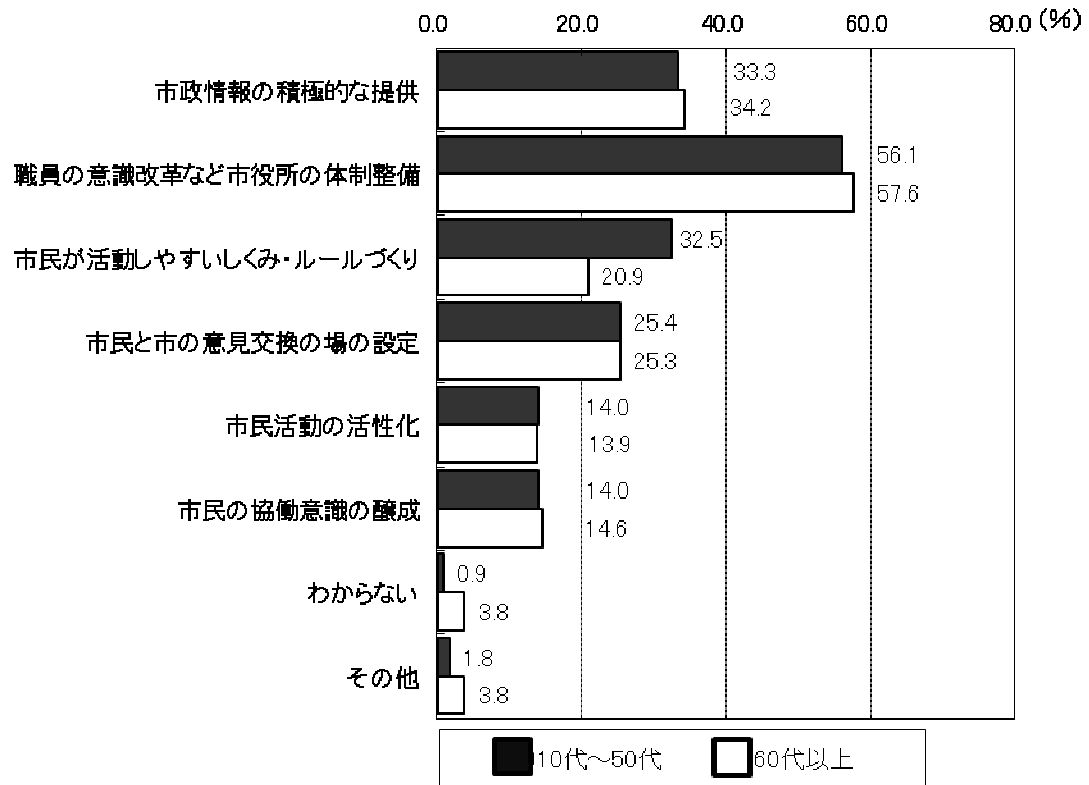
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきこととして、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が 43.5%、「市政情報の積極的な提供」が 25.5%と高くなっています。



その他
市職員が公ぼくの意識を持ち地域の行事等に積極的に参加。指導的立場が必要です。
市の職員の活躍ぶりなど聞いたことなし。市職員の30代～40代のやる気のある人、見出し活躍の場を与えてやること。
人口増加と、財政の健全化、出身者の納税
マンパワー研修等
市議員の意識改革
市長、職員の市政への対応が解るように広報などで知らせて下さい
市会議員が先に立って市職員とボランティアを行う
職員も市民の1人として参加していく

問 17×年代

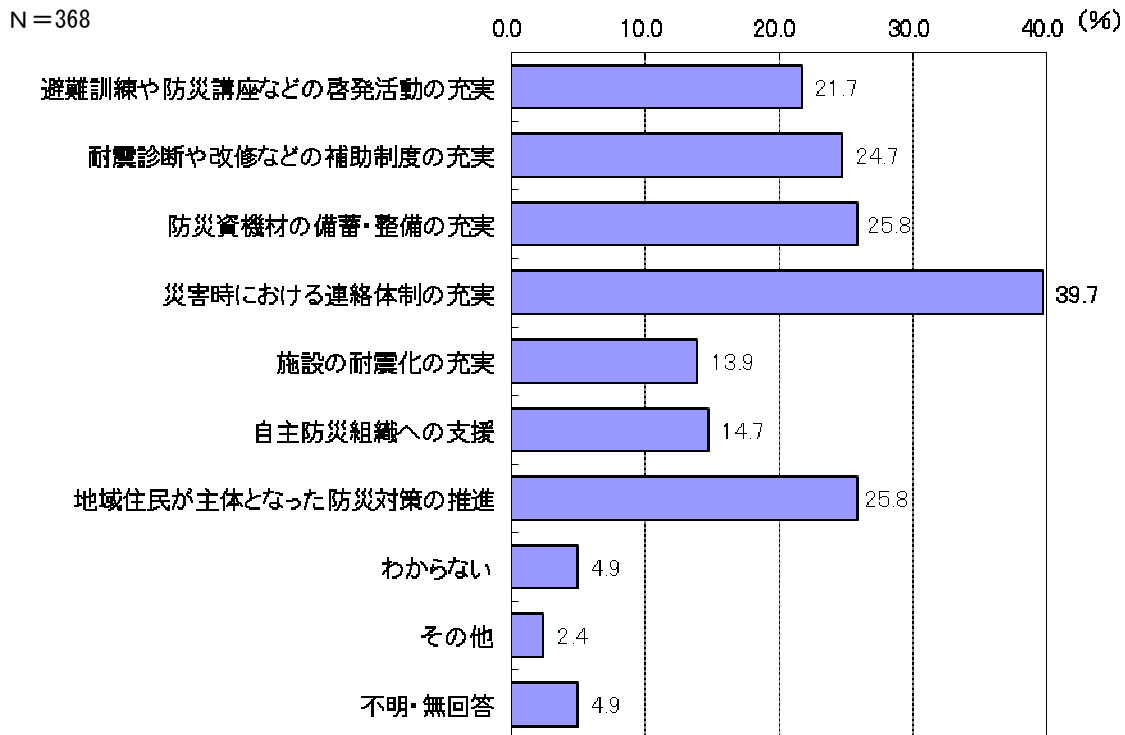
市民との協働のまちづくりを進めるうえで市が取り組むべきことを年代別に見ると、「職員の意識改革など市役所の体制整備」が各年代とも高く、「10～50代」の「市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり」の割合が高くなっています。



【安全】

問 18 あなたは、地震や台風など災害により被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

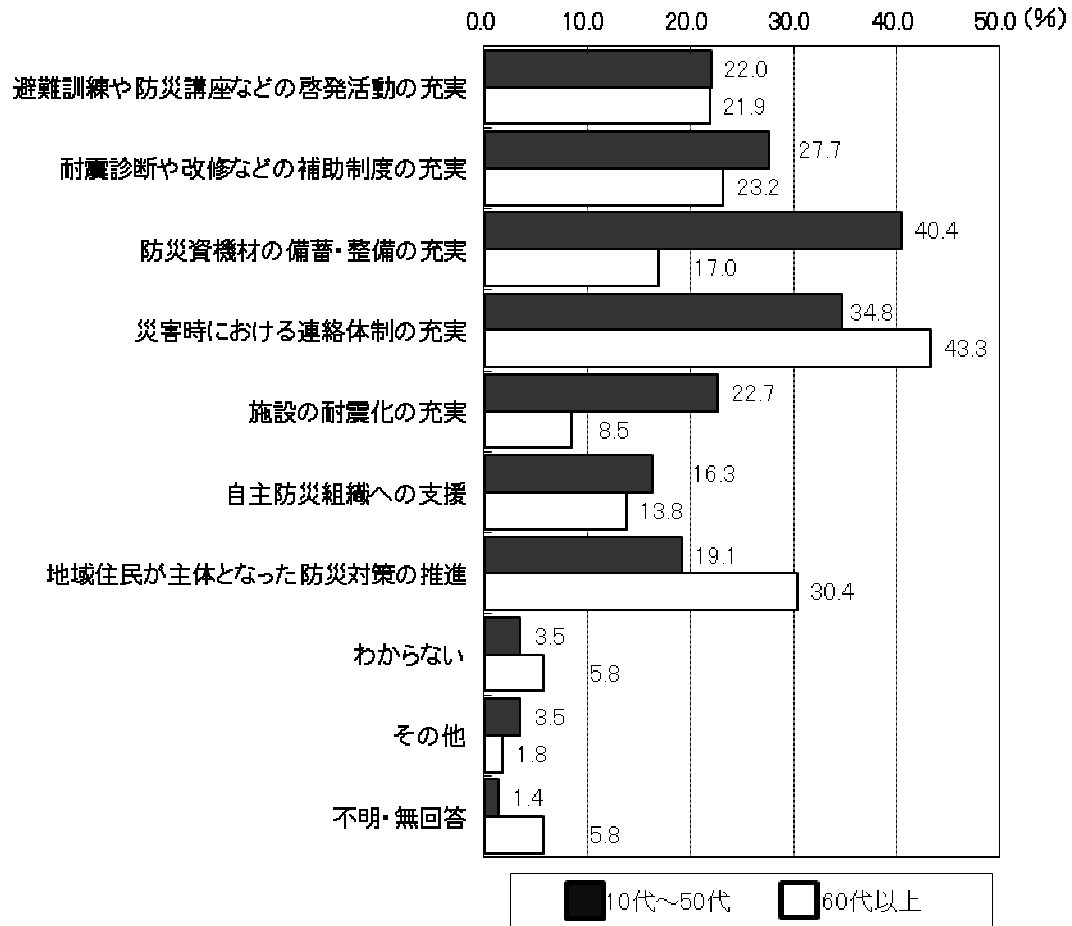
災害による被害防止策として、「災害時における連絡体制の充実」が 39.7%、「防災資機材の備蓄・整備の充実」と、「地域住民が主体となった防災対策の推進」がともに 25.8%となっています。



その他
すべて必要
住所安全な為
自分の身は自分で守る
山への避難道、避難ビルの整備。アルファ米の備蓄
避難タワーの建設、避難場確保
避難タワー等近くに逃げる場所をもっと作る
・災害時における人的被害を軽減する為には自分では避難出来ない災害支援者をどうすれば良いのか検討し、自主防災組織と連携して対策を講じるべきである。・私は市内中川の住民です。豪雨の度に中川が氾濫するのではないかと心配しています。市、県へ川の掘削を要望してもいっこうに進みません。もっと身近なことから防災対策を進めてほしい。
職員の教育。つねに危機感をもって取り組んでほしい
市民全体大人から子どもまでが参加する大がかりな避難宿泊体験、避難所開設運営を誰でも出来るよう、体験参加型イベントに

問 18×年代

災害による被害防止策を年代別に見ると、「防災資機材の備蓄・整備の充実」「施設の耐震化の充実」などでは「10～50代」が、「災害時における連絡体制の充実」「地域住民が主体となった防災対策の推進」では「60代以上」の割合が高く、年代による差が見られます。

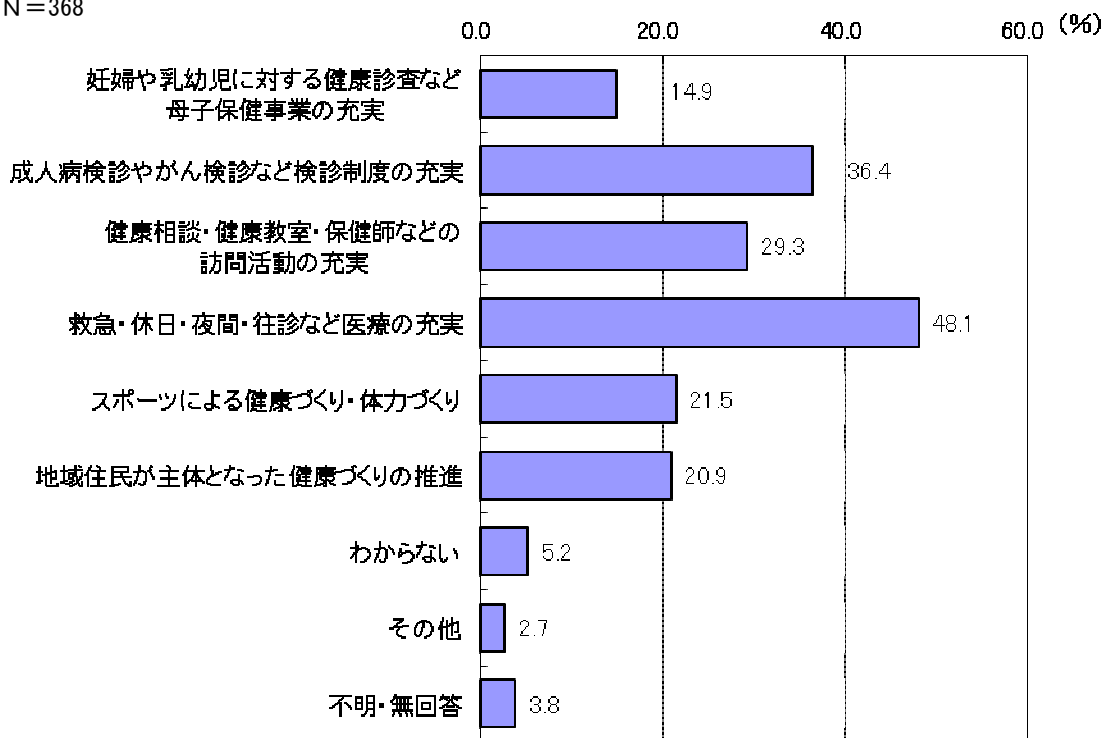


【健康づくり】

問 19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。（複数回答）

健康づくりの充実策として、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」が48.1%、「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」が36.4%、「健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実」が29.3%となっています。

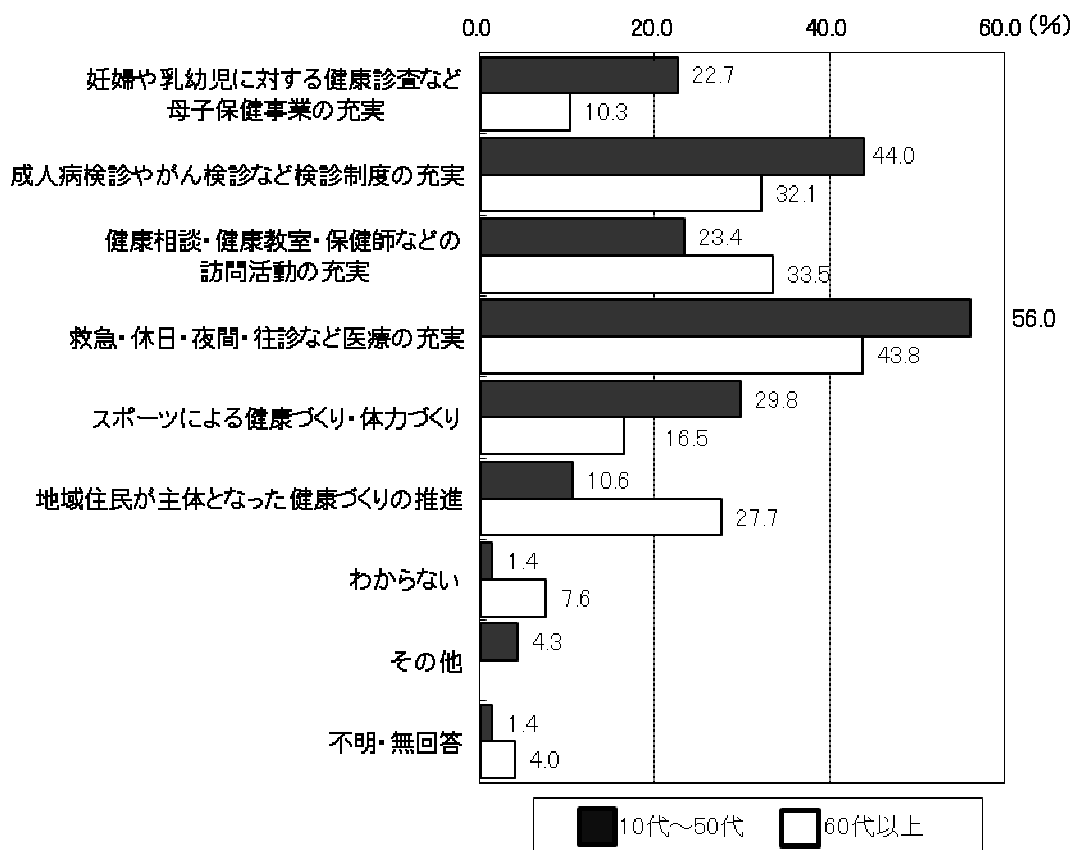
N=368



その他	件数
すべて必要	2
医師や看護師の充実、補強	2
市民プールとフィットネスクラブが必要	1
町全体に灯が少なすぎ。夜のジョギングは暗くて見えにくくて走りにくい。	1
病院のシステム	1
総合病院通院、自分流の生活	1
人それぞれに考えや生き方がある	1
検診や予防接種の無料化。特に風疹、インフルエンザの予防接種	1

問 19×年代

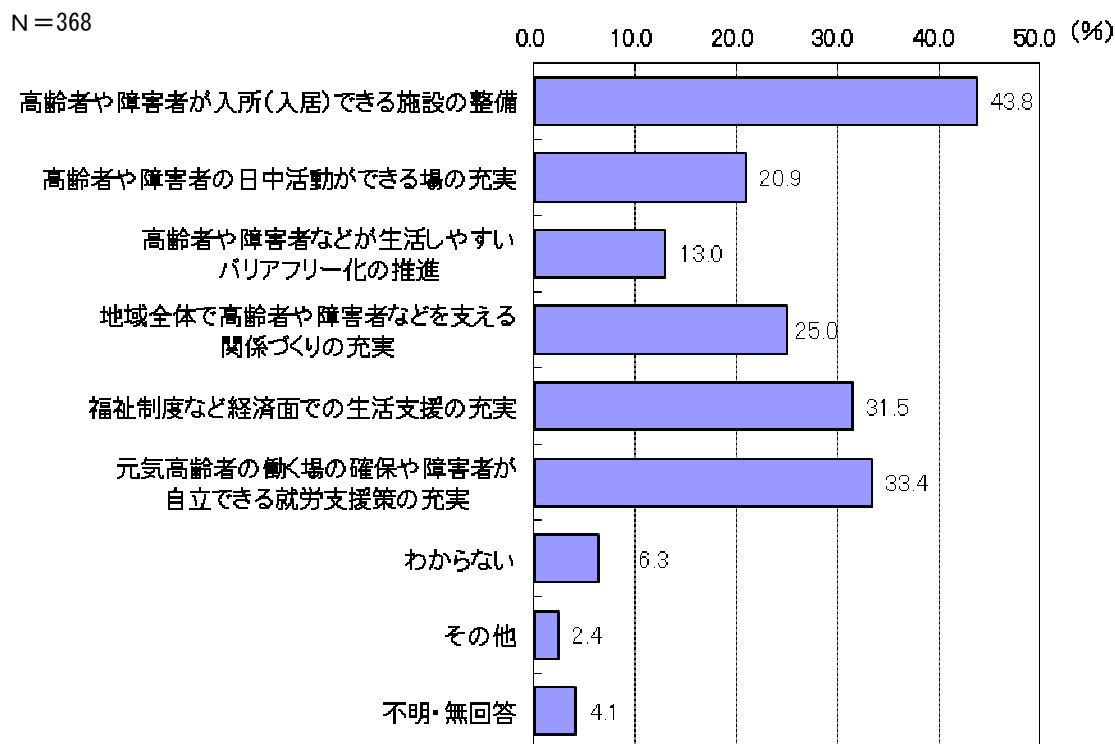
健康づくりの充実策を年代別に見ると、「救急・休日・夜間・往診など医療の充実」や「成人病検診やがん検診など検診制度の充実」は多少の差はあるものの各年代とも割合が高く、「健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実」や「地域住民が主体となった健康づくりの推進」は「60代以上」の方の割合が高くなっています。



【福祉】

問 20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

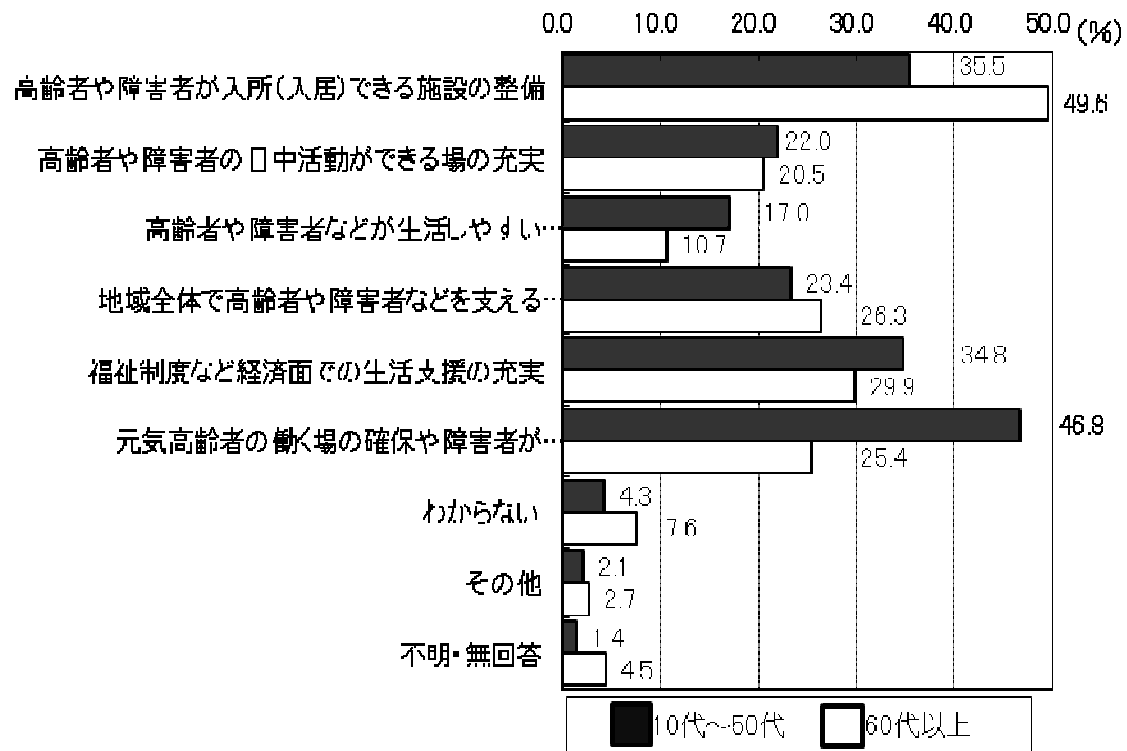
福祉の充実策として、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」が43.8%、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自律できる就労支援策の充実」が33.4%、「福祉制度など経済面での生活支援の充実」が31.5%となっています。



その他
基本は子供が親の老後をみる。みなさん甘えています。
空き家を活用して誰でもいつでも集まれる場所づくり 老人は家に引きこもりがち。
福祉の世の中、今のところ十分だと思います。
政策に反対。自分の家庭内は自分で解決、努力せよ
家の掃除など包括支援をうけてありがたく思っていますが、買い物などタクシーを使わなくても良いような支援をお願いしたいです。
若い人や高齢者が豊かな心で過ごす上で文化面での様々などりくみも大切。設問にないのが残念。書き加えさせていただきました
高齢者も障害者も今出来ることが落ちないよう、リハビリやトレーニングが出来る施設やプログラムの充実。運動を取り入れることで、認知症の抑制にもなるので。

問 20×年代

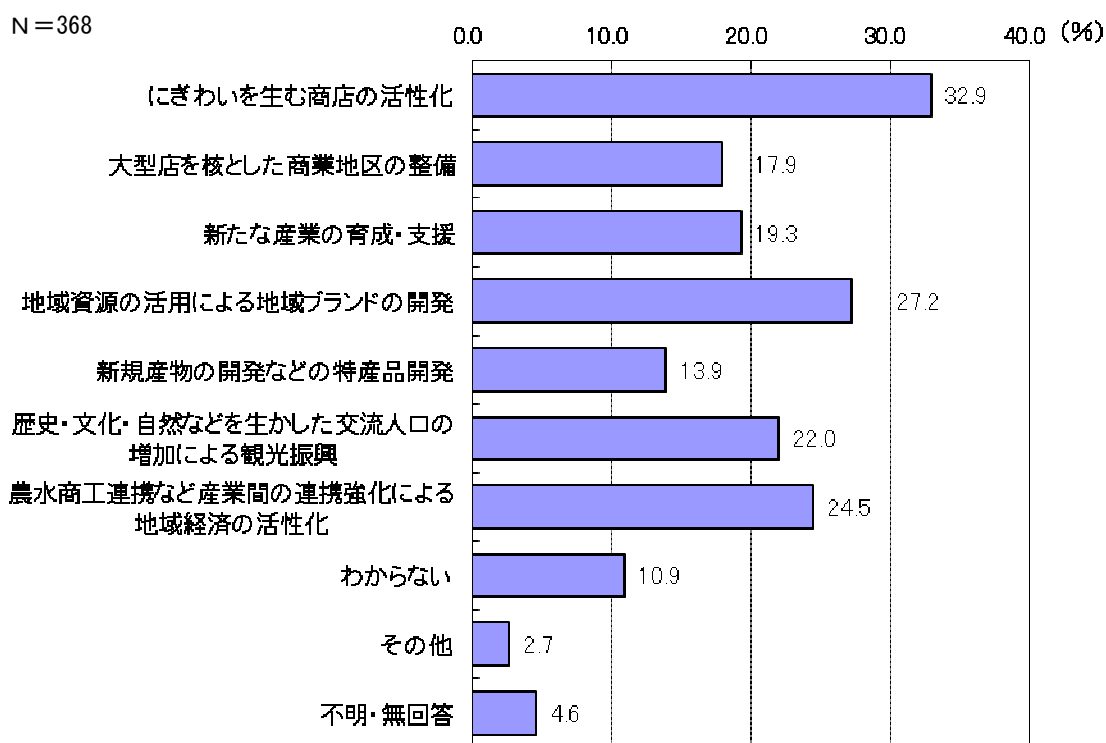
福祉の充実策を年代別に見ると、「高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備」や「地域全体で高齢者や障害者などを支える関係づくりの充実」では「60代以上」が、「元気高齢者の働く場の確保や障害者が自律できる就労支援策の充実」や「福祉制度など経済面での生活支援の充実」などでは「10代～50代」の方が高く、年代による差が見られます。



【産業振興】

問 21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(複数回答)

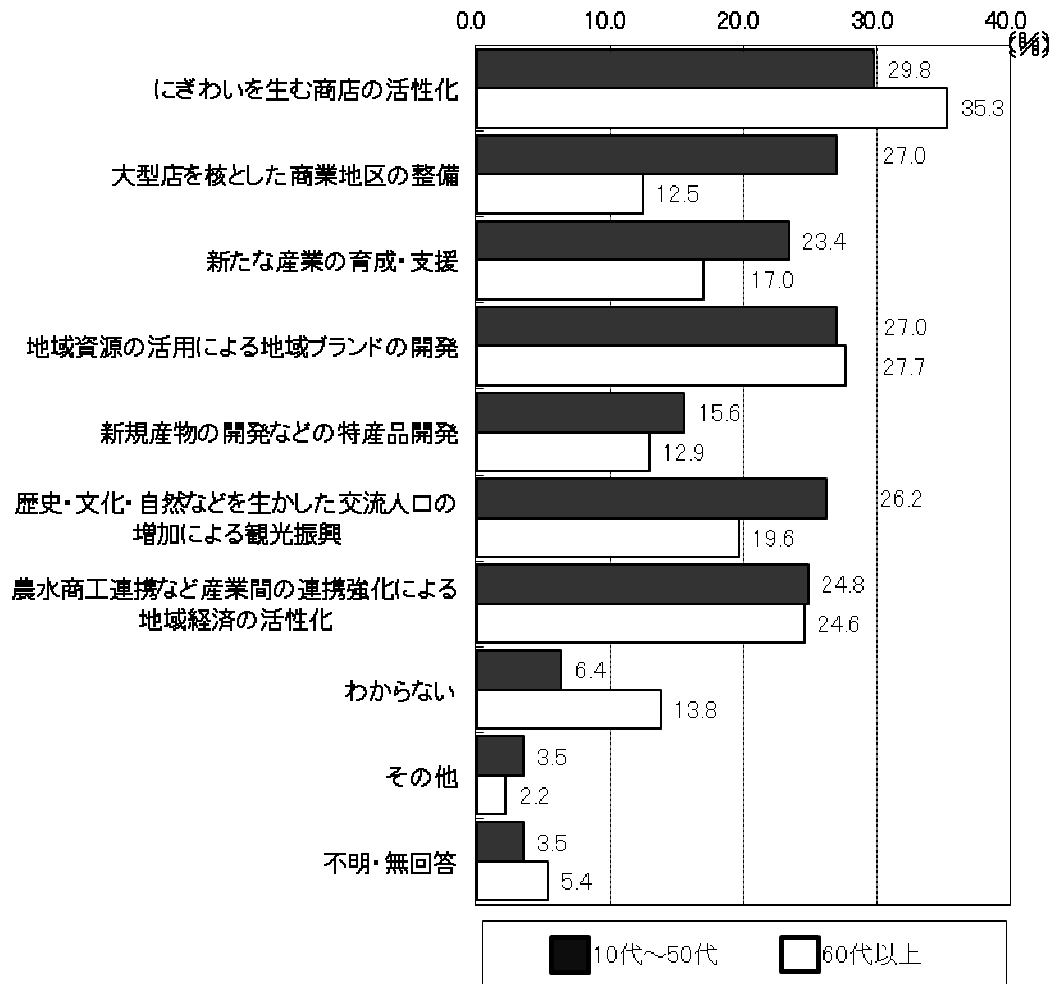
産業振興・活性化策として、「にぎわいを生む商店の活性化」が32.9%、「地域資源の活用による地域ブランドの開発」が27.2%、「農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化」が24.5%となっています。



その他
補助事業をしてはいけません
人口が減っているのに活性化はむずかしい
スポーツ施設を充実し、外部の利用を目指し、外資を獲得する。熊野市に(職員に負けている。)
産業振興も活性化もすべて人口を増やす、若者を増やす。
産業振興が新しい何かを創出することではないかと思えます。問い自体が誘導と感じます。
商工観光課は廃止すべき。机上の空論ばかり。まず深層水、まったく成果なし
大型会社が少なすぎる。土地が高いのでは？！
旧来からの商業地区の区画整理。歩行者天国。普通車が問題なく入っていける。駐車車両の排除 等。
何故に街の活性化が図られないのか、問題点を市民に広報して市民の意識改革をする必要あり(街づくりのために)
世界遺産熊野古道を活かした祭(イベント)、深層水や自然を前面に出した化粧品の開発。三重大学と協力して、効果も調べてもらう。マスコミやTV情報番組、ラジオ、インターネット、ツイート等利用、1市町村に1~2人は広告塔の職員を置き、フナッシー位働いてもらう(笑)

問 21×年代

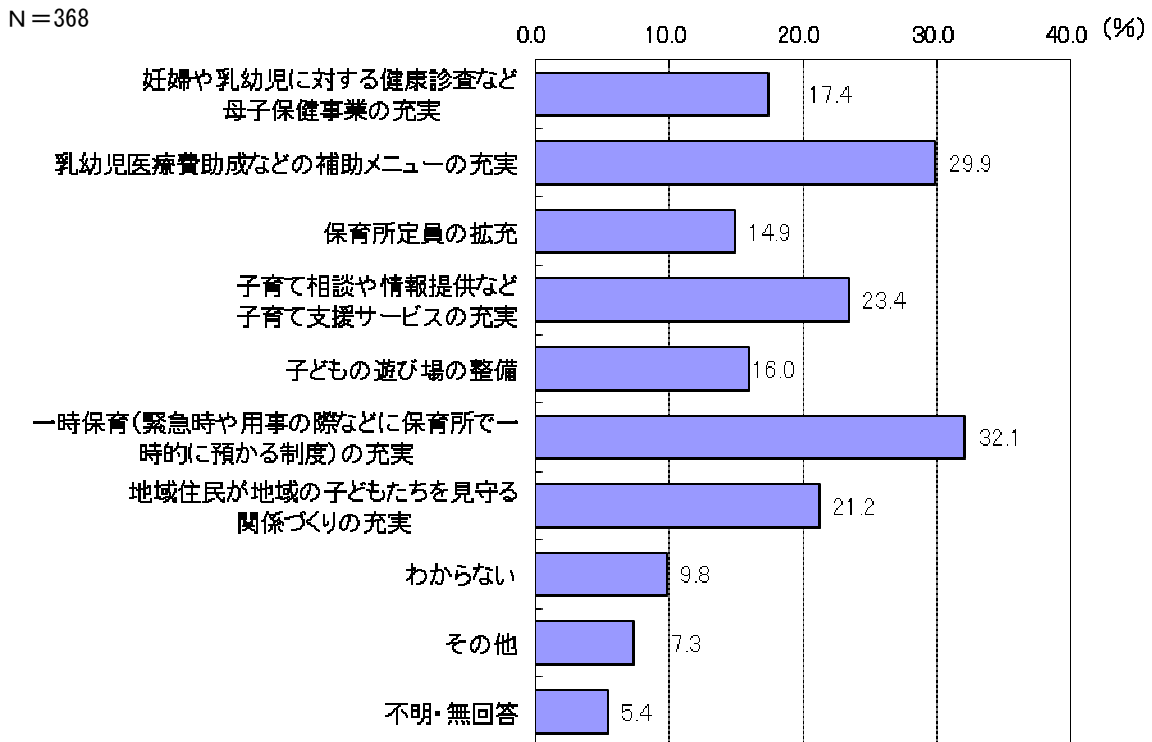
産業振興・活性化策を年代別に見ると、「大型店を核とした商業地区の整備」や「新たな産業の育成・支援」では「10代～50代」が、「にぎわいを生む商店の活性化」では「60代以上」の割合が高く、年代による差が見られます。



【子育て環境】

問 22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

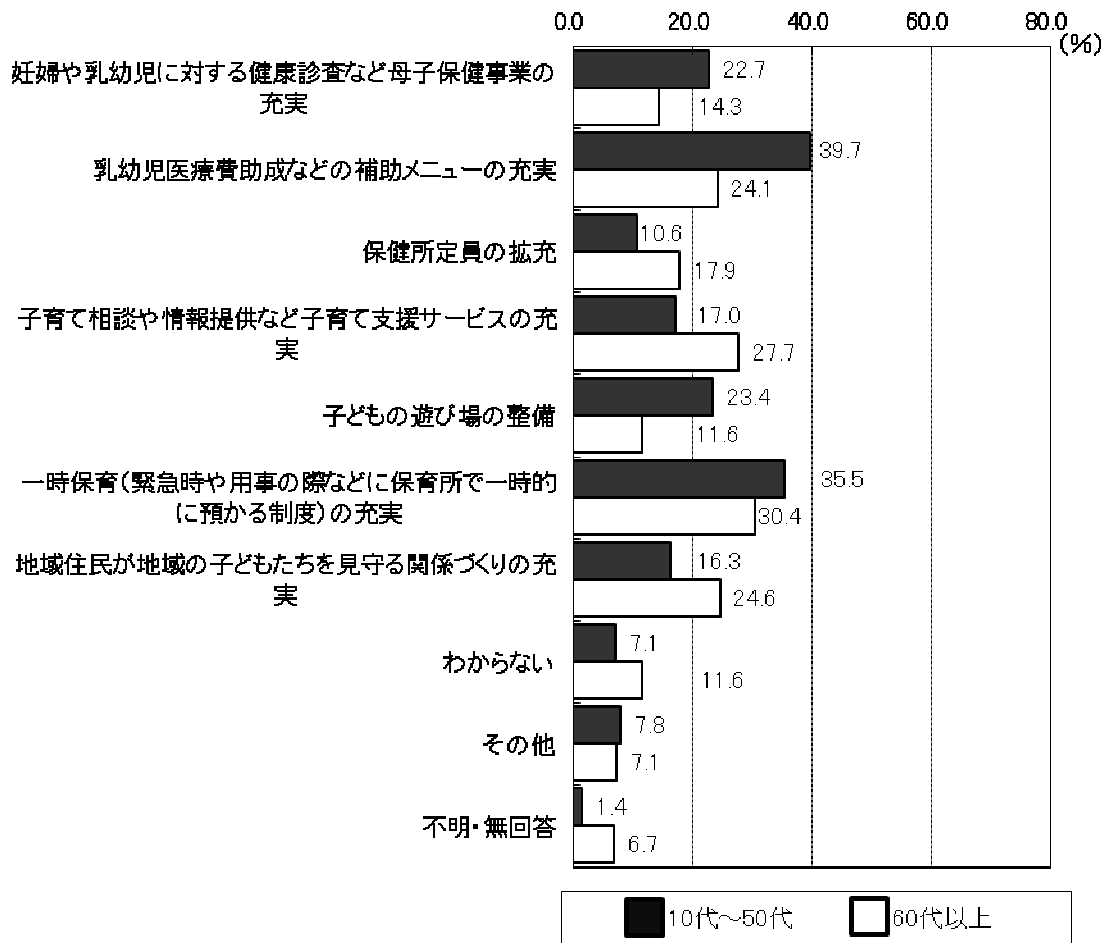
少子化への対応として、「一時保育(緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度)の充実」が32.1%、「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」が29.9%、「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」が23.4%となっています。



その他	件数
若い世代を中心とした雇用の確保	15
夜間、休日保育所の充実、支援サービス充実	2
田舎で教育したらノンビリすぎて孫達の将来が不安です。	1
不妊治療費の補助	1
若者にとって魅力あふれる町づくり	1
幼稚園、保育園も不足しているとは思わない	1
子供の行事や病気の際、休みやすい職場にするよう、上司や会社のトップの人にはたらきかけてほしいと思います。お母さんも働かないと生活がなりたないから	1
あてはまるものがない。なぜ若者が外に出ていくのか。魅力のない町だから。残る若者が少ない→少子化→? 具体的に考えても実現しないことが多く、アホらしくて書けない。実現できるような市政になってほしい	1
年齢なので考えた事がない	1
少子化よりも人口	1
出産費の助成	1
子供が待っている力、特にスポーツなど個人の力がどんどん伸ばせる場があればよいと思います。	1
不妊治療助成金の所得制限の拡大	1
職場の育児をしながら働きやすい制度改革	1
「子育て＝お金がかかる」1～2人しか産まない→少子化になる。子育て世帯への減税や児童手当等の充実	1

問 22×年代

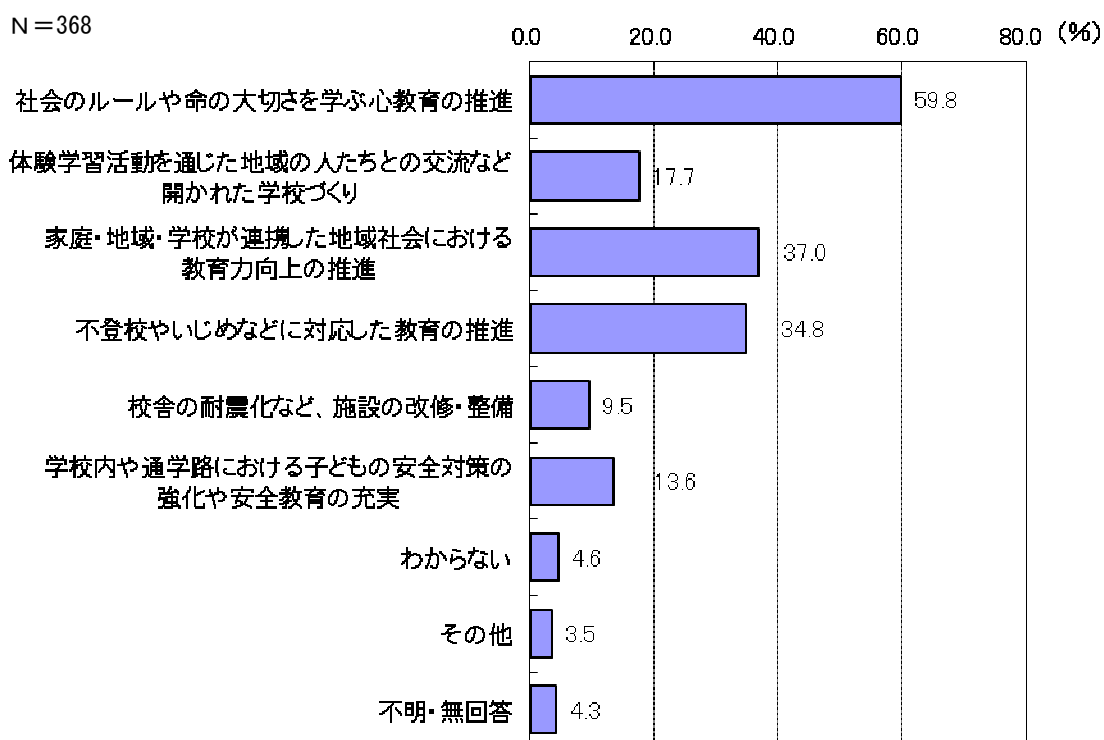
少子化への対応を年代別に見ると、「妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実」や「乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実」、「一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実」などでは、「10代～50代」が、「子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実」や「地域住民が地域の子どもたちを見守る関係づくりの充実」では「60代以上」が高く、年代による差が見られます。



【学校教育】

問 23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。（複数回答）

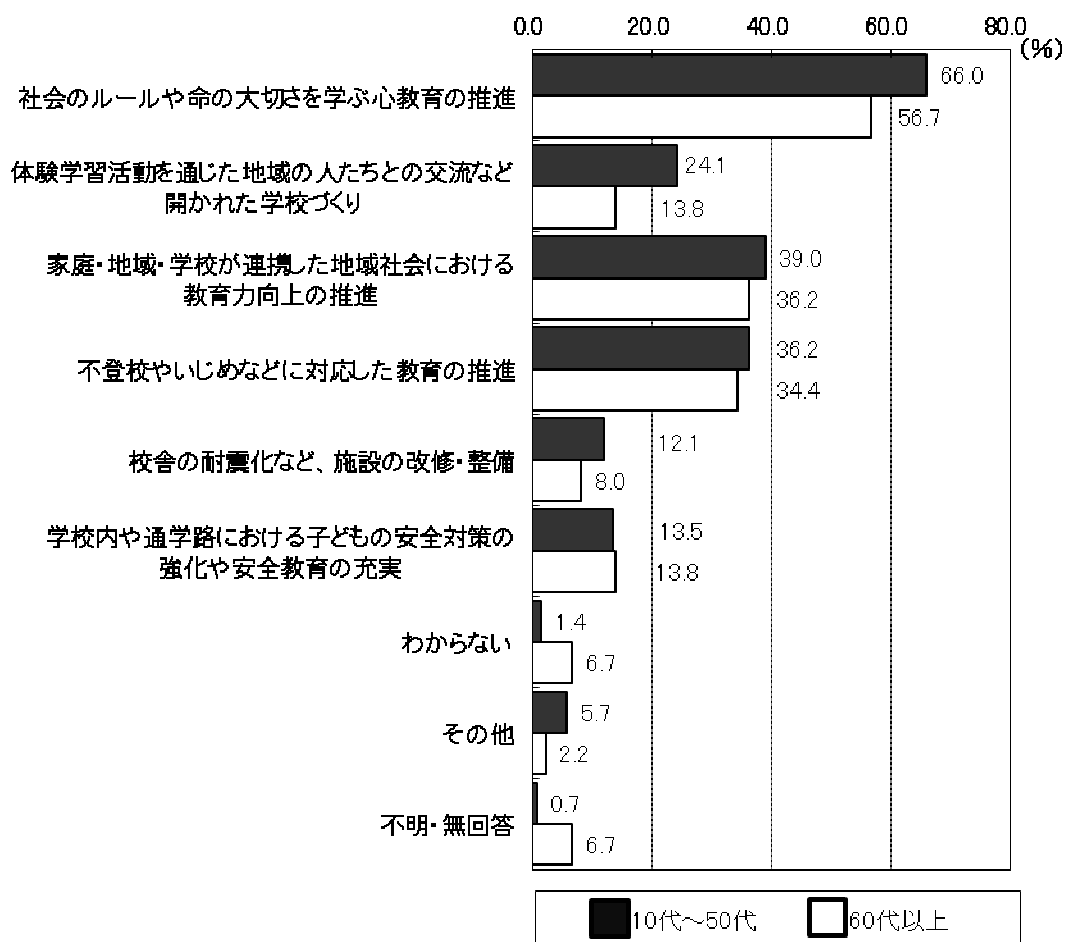
学校教育の充実策として、「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」が 59.8%、「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」が 37.0%、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が 34.8%となっています。



その他
すべて
新しい学校を建てるべきでない。宮ノ上小学校を建てるべきでない。もったいない。
子供たちは素直で可愛い子供さんばかりです。
小学校まではスポーツ活動を公費で支援すべき
先生不足と退職教師の有償・無償ボランティアで補う。
保護者、社会人教育の充実。
教師たる者はいちいちPTAにペコペコしない。教師としての威厳を持つこと。そのためには教育委員会のあり方にも問題があるのではないのか。自分の信念に従えず次々とうつ病を頻出させる新人教師たちの背景を根絶せずして、学校教育の充実はあり得ない。叱る時は思いっきり叱る。遊ぶ時は休日を返上してまで遊ぶ。
開かれた学校づくりは、教育委員会も同じ
学力の向上
先生したい
人それぞれに育て方があるが、礼儀に欠ける子供が多い。
教員の質の向上
学校側と家庭の信頼関係を築くこと。不信感を与える教師が目につく

問 23×年代

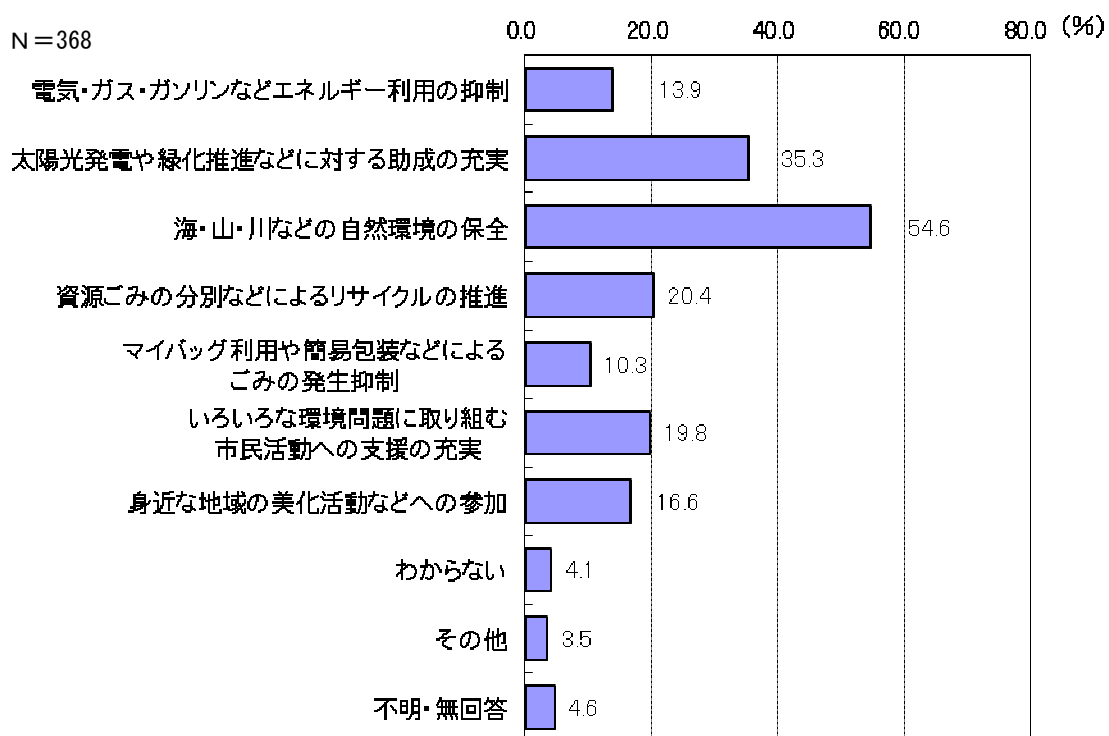
学校教育の充実策を年代別に見ると、各年代とも「社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進」や「家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進」、「不登校やいじめなどに対応した教育の推進」が上位となっています。



【環境】

**問 24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。
(複数回答)**

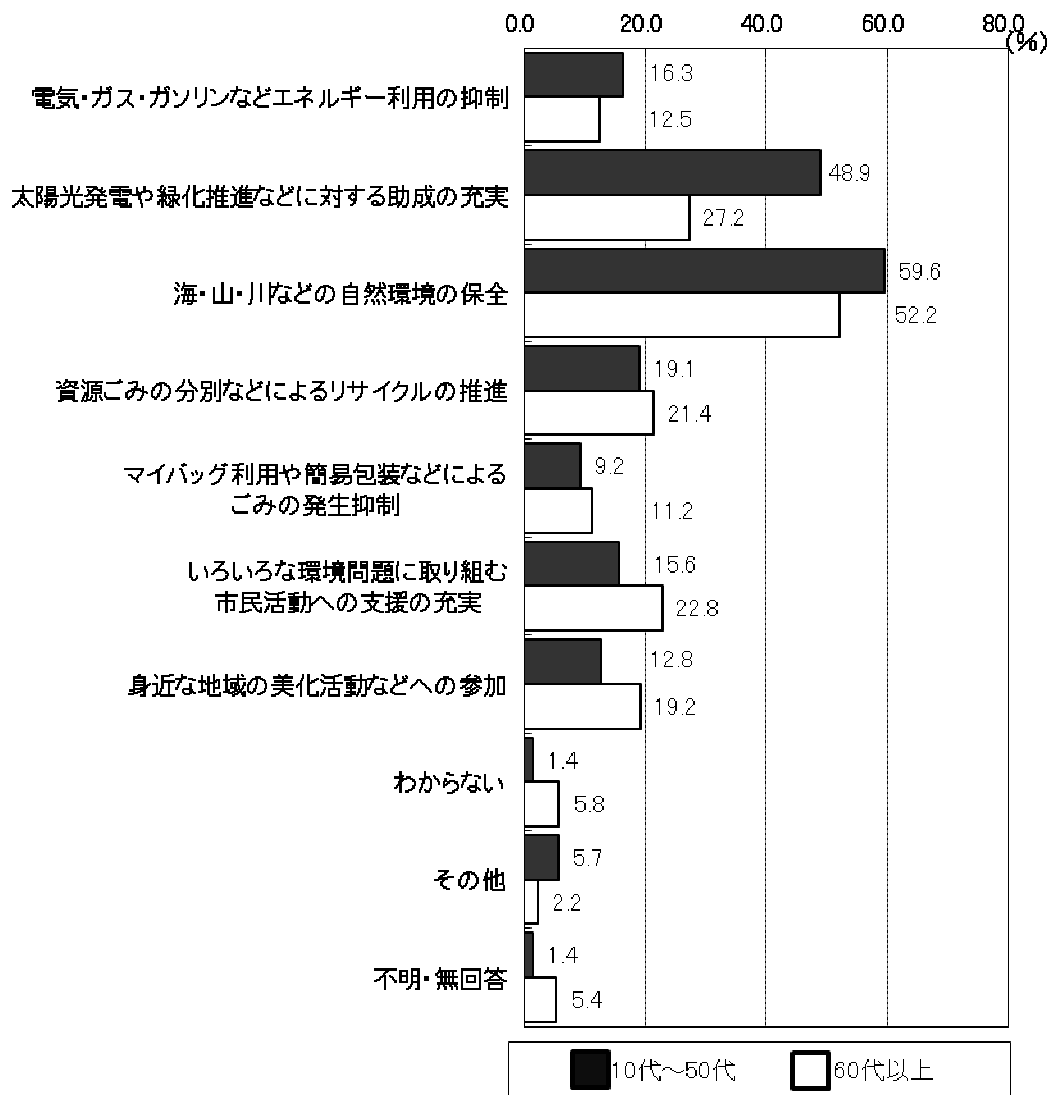
環境を良くする方策として、「海・山・川などの自然環境の保全」が54.6%、「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」が35.3%、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」が20.4%となっています。



その他
尾鷲方式として近藤鉄工の生ゴミの処理を採用すべきと思います
PFIを進める
東邦のタンクのあと地に太陽光発電 海に風力発電
学校教育・環境について子供のうちに教え込む。
環境保全を事業化してモデル都市化して技術を売る。
『不便』から『便利』への変化を求め過ぎない。(例)中村山の遊歩道をセメント板にしてしまったため、当時の風情が消えてしまい、登る気が失せた。雨上がりは苔が生えて、滑って上りにくい。施工費を安価に押さえることだけに終始し、使い心地良さに関する視点に欠けている。
プラスチックごみが分別資源ごみなのに、紀北町でわざわざ料金をはらって燃やしてもらうのはぜったいおかしい話ですね。燃やしてしまうならなぜ分別しなければならないのか？
資源ゴミ等廃棄物の3R化の推進
資源ゴミの分別は今のままでいいのですか？分別の中にはよごれたものでまで入っています。もう一度説明会を開いてはどうですか？
もっと個人が自主的にゴミ分別に気を付けてほしい
EM菌の活用。市による啓蒙活動
電気・ガス・ガソリンに頼らない。市役所やその他施設から変更していく

問 23×年代

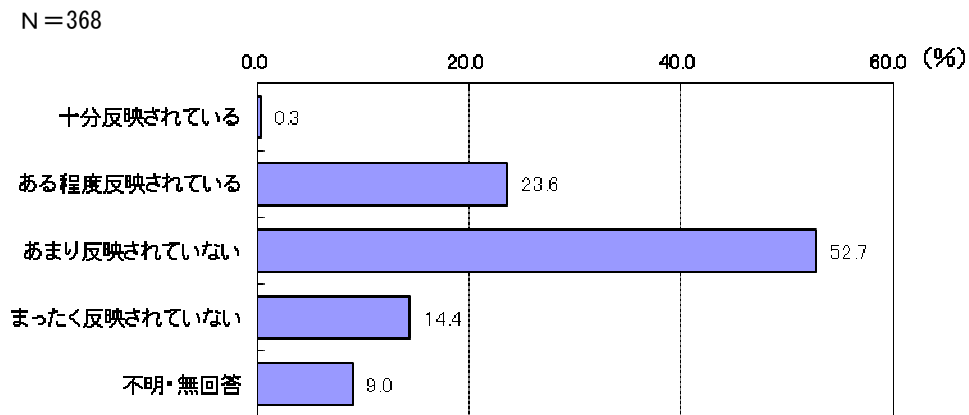
環境を良くする方策を年代別に見ると、各年代ともに「海・山・川などの自然環境の保全」が最も高く、「太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実」では「10代～50代」が、「資源ごみの分別などによるリサイクルの推進」や「いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実」では「60代以上」が高くなっています。



【市民意見の反映】

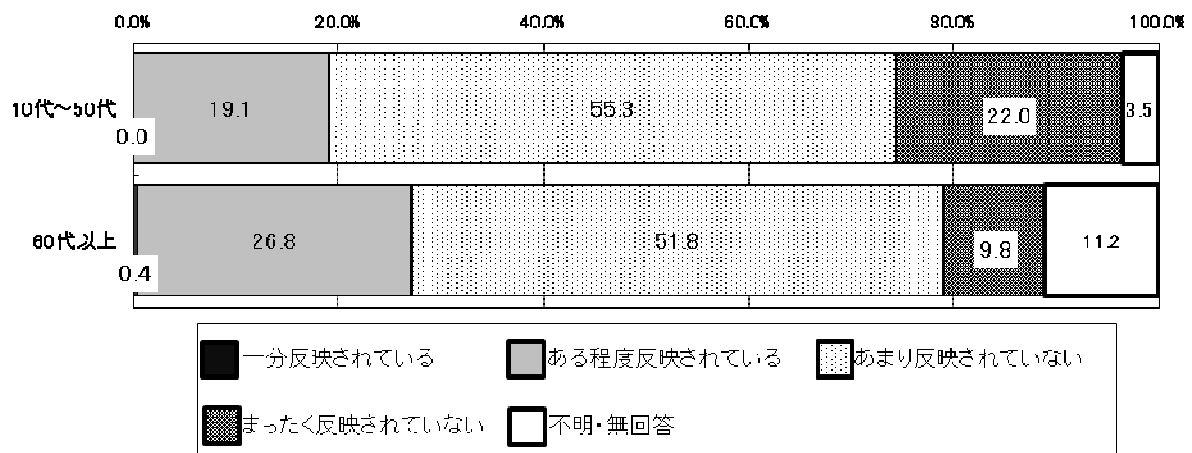
問 25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

市政への市民意向の反映状況として、「あまり反映されていない」が52.7%、「まったく反映されていない」が14.4%と、合計で6割以上が「反映されていない」と回答しています。



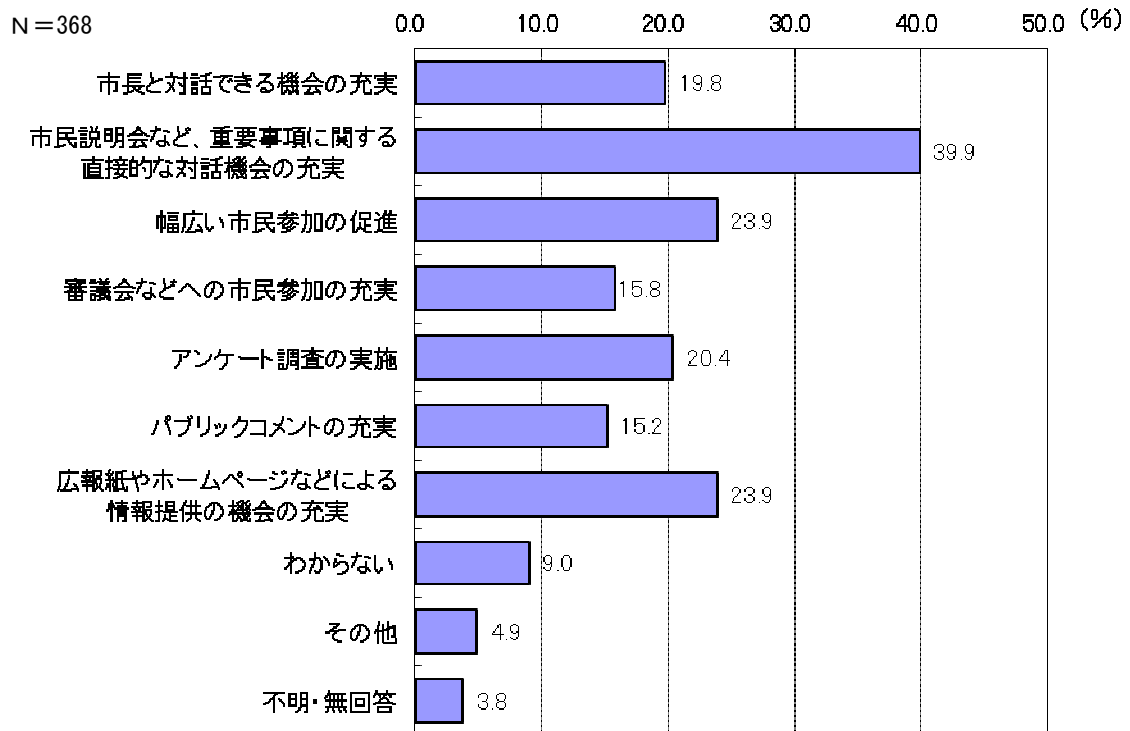
問 25×年代

市政への市民意向の反映状況を年代別に見ると、「あまり反映されていない」「まったく反映されていない」の合計が、「10代～50代」では7割以上、「60代以上」では約6割となっています。



問 26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。(複数回答)

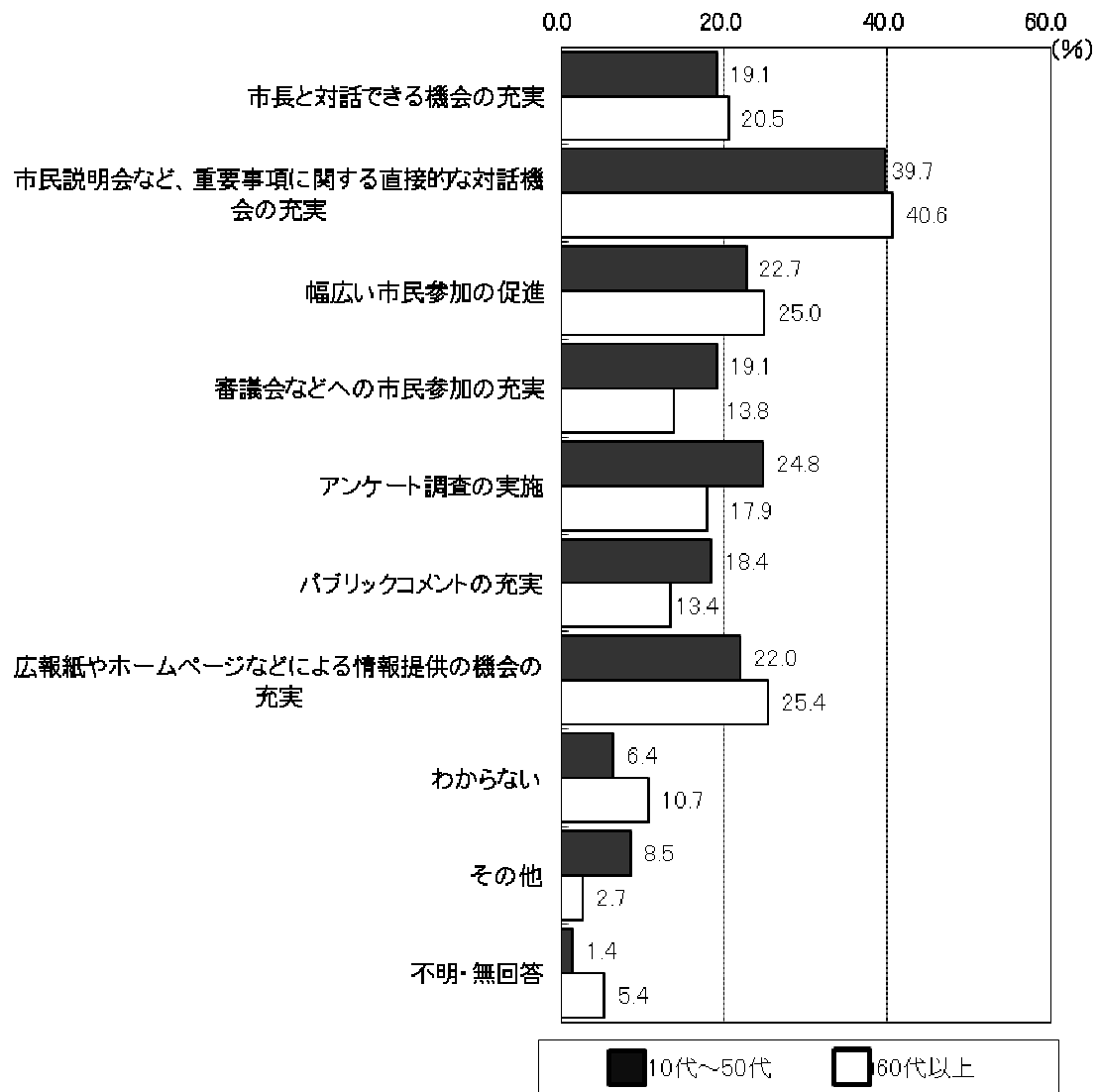
市民意向を市政に反映させる方策として、「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対応機会の充実」が 39.9%、「幅広い市民参加の促進」と「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」がともに 23.9%となっています。



その他
行政のやる気
市民の声をくみ上げるシステム自体がない。
市長を含む議員の質の向上
対話や意見交換情報提供よりも何をし次に何をし…結果報告を聞きたい。
『第〇次総合計画』の様な茶番劇は廃止し、市民を混ぜたいいくつかの勉強会グループを発足させ、魂のこもった総合計画の礎とする
市の議員さんたちがはば広い人たちの意見をきいてしっかり判断して発言してくれればいいと思います
してもいっしょ！道の駅を例にしても反映できていない
市民説明会は一切不要！その為の市会議員です。
議会中継の実施
市民の意向も大切ですが、ふりまわされ過ぎの感があります
市民が目にするイベント対談
キレイ事で終わらせない。口だけで実行力の無い市政は無駄！
市政懇談会を開いても市民の意見が何も反映されていない
市民の声が聞きたければ、役所が動くべきだと思う
市長の考え方のぼうそうがあるように思います。ゴミ袋の代金、浄化槽、学校の廃棄物処理問題、尾鷲小学校建設の件でも一般とのずれがずいぶんあります。今の市長の考え方に反対します。市民との説明会がいつあるのか、どこであるのかかわからない。いろいろなイベントがあっても終わってから新聞を読んでわかることが多くあります。
あてはまらない
意味のない市議会をするのではなくもっと中身のある本当に市民のことを考えた議会をしてほしい
市長は市民に不信感を与えるような事はしない

問 26×年代

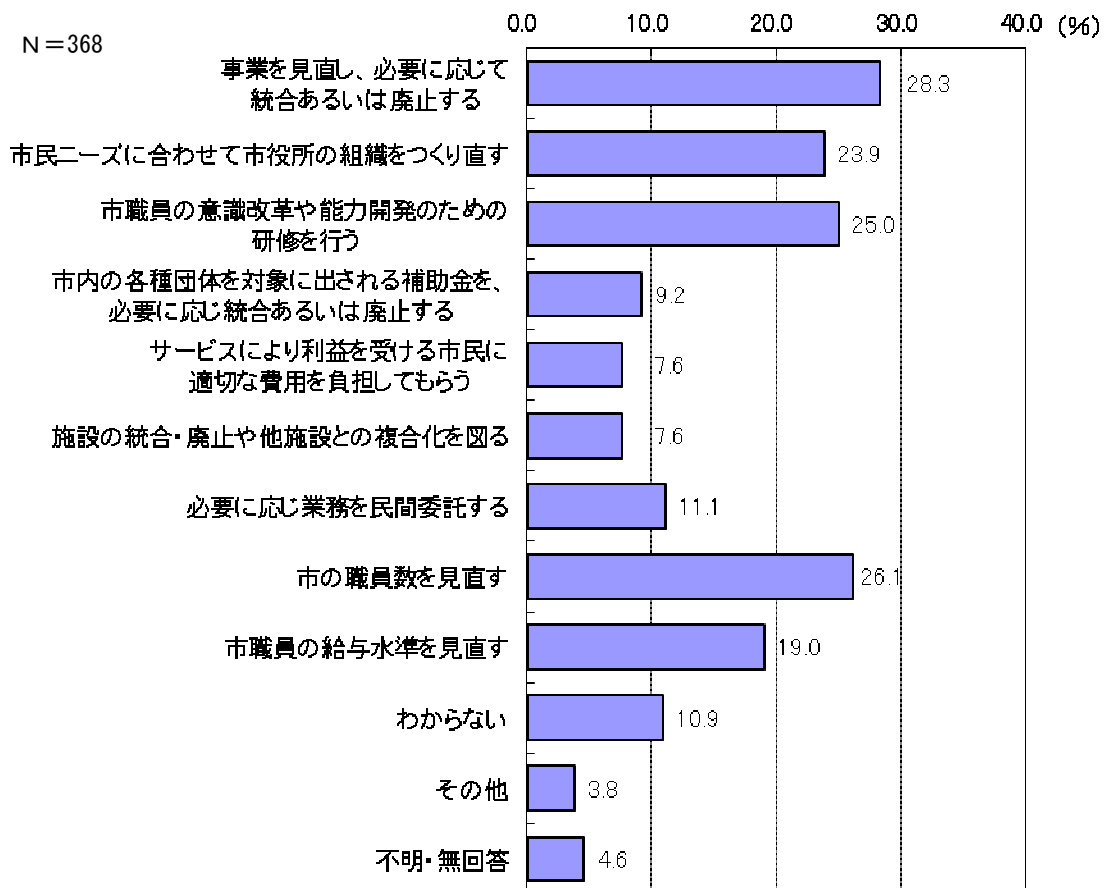
市民意向を市政に反映させる方策を年代別に見ると、「審議会などへの市民参加の充実」や「アンケート調査の実施」では「10代～50代」が、「幅広い市民参加の促進」や「広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実」では「60代以上」の割合がやや高く、年代による差も若干見られますが、各年代ともに「市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実」が最も高くなっています。



【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと考えますか。(複数回答)

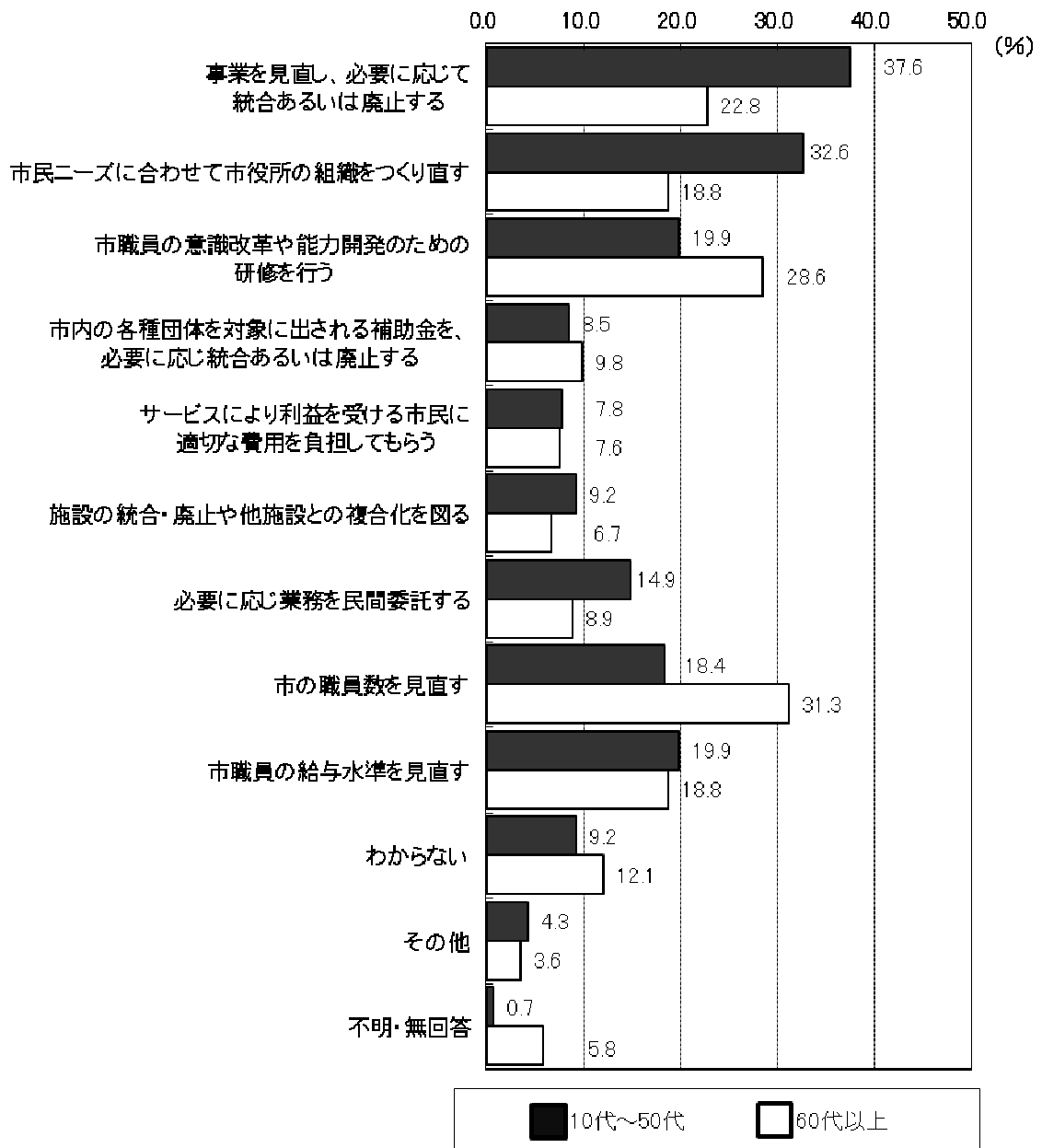
効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策として、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止」が28.3%、「市の職員数を見直す」が26.1%、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」が25.0%となっています。



その他
市政が古い、だから無駄が多い。思い切った変革が必要
今現在採用されている職員になし。もう一度採用試験を行い点数が一定基準で達していないようであれば削減の対象者とするようにすればよい。
3,4,5,6,7,8も必要。9は自治省から変えなければ
天下り職員の廃止
商工観光課は廃止すべき。事業を見直し、結果を一考すべき
当市と同等と思われる先進地に視察しいところを参考とし実施する。
先進地との交流
職員の給料が低いと言われますが、市内の事業所から見ると高いように思います。賞与にしてもあれだけもらっている事業所は少ないです。それに福利厚生の方でもゆうぐうされていると思います。
市民の声が良い悪いは別にして行政に反映されないとされているのはどこかに問題があるのでしょうか。市長始め職員で一度しっかりと検討させていただき、その結果を広報などで報せて頂ければ結構かと思いますが
教育施設(保育園～中学校)の統廃合はやめるべきだ。地域をだめにしよう。地域の活性化と逆行しているようだ
条例や要綱を盾に切り離さず、困っている市民の側に立って親切に対応してください。
県職、市職員のコネ化の徹底追放。同じ一族ばかりの行政で何もかわる訳ない。市議員一族ばかりが富を得、職を得る町に発展はない

問27×年代

効率的かつ効果的な行政サービスの提供方策を年代別に見ると、「事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する」や「市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す」などでは「10代～50代」が、「市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う」や「市の職員数を見直す」などでは「60代以上」の割合が高く、年代による差が見られます。



4. 暮らしの満足度と今後の重要度について

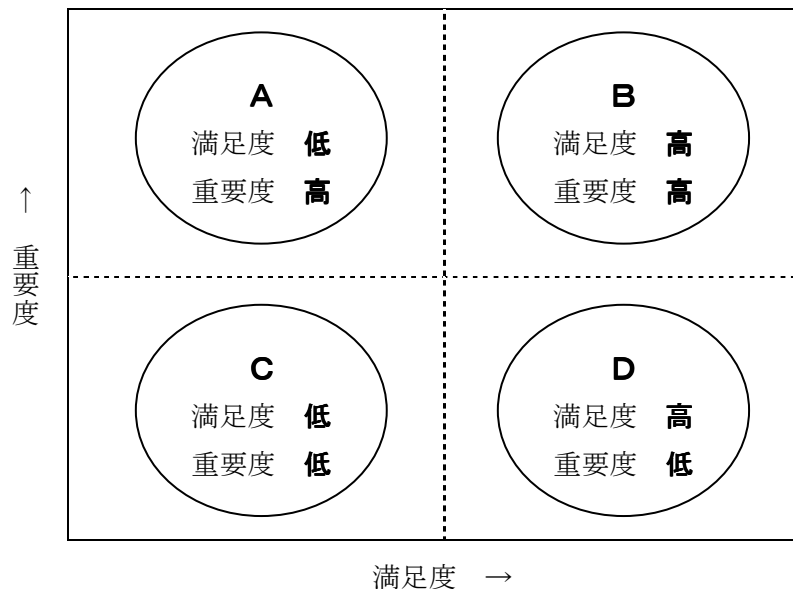
問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。

満足度の点数化については、「満足」＝5点、「どちらかといえば満足」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば不満」＝2点、「不満」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

重要度の点数化については、「重要」＝5点、「どちらかといえば重要」＝4点、「普通」＝3点、「どちらかといえば重要でない」＝2点、「重要でない」＝1点として、「わからない」「不明・無回答」を除く件数で除したものです。

市の取り組みやサービスの分野 24 項目について、上記の基準で点数化し、散布図に落とし込みました。

■結果の分類



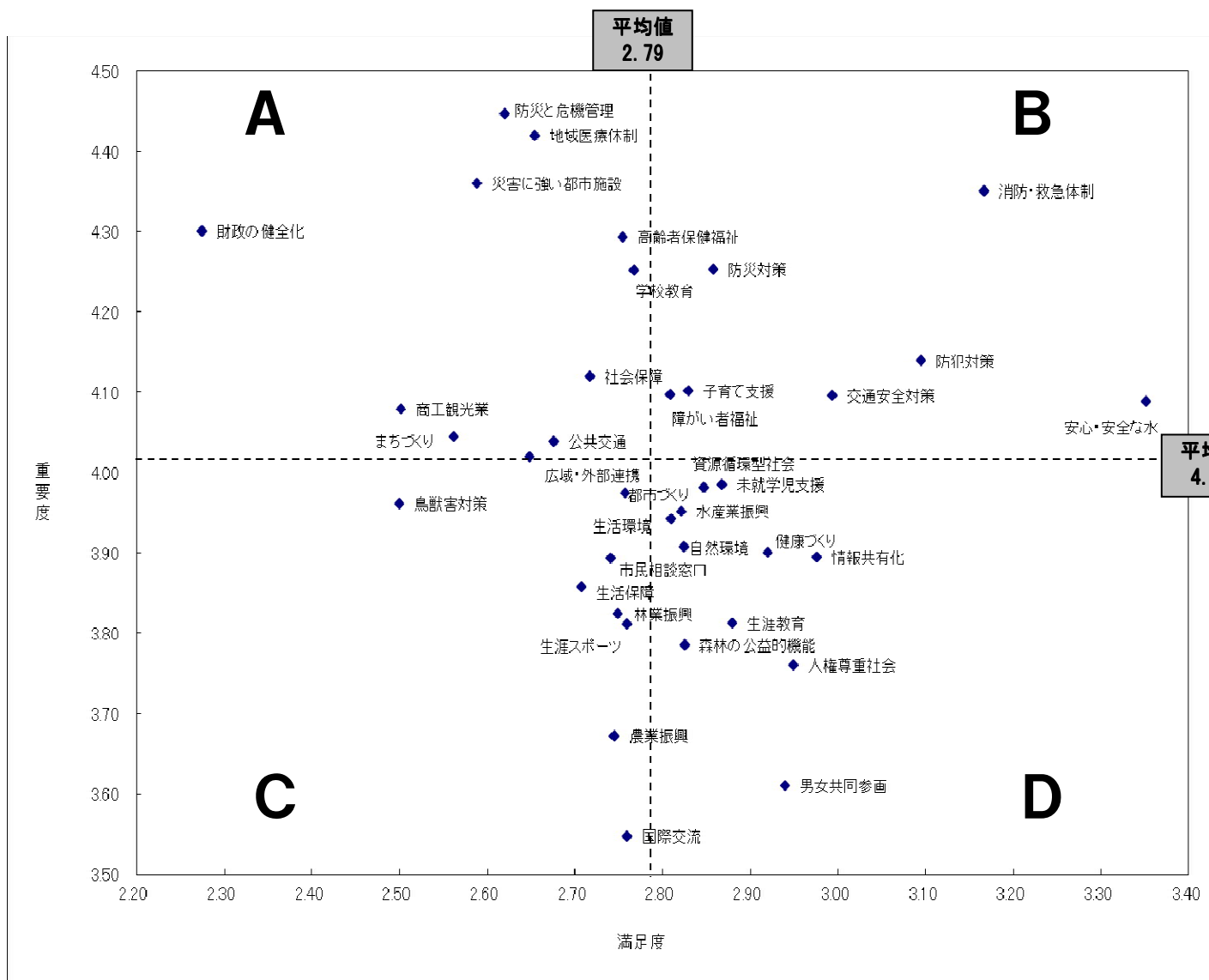
領域	説明
A	重要度が高いにも関わらず、満足度が低く、優先して充実が求められている項目
B	満足度も重要度も高いため、継続して充実する必要がある項目
C	満足度も重要度も低いため、他の項目の優先順位を勘案しながら、満足度を向上していくべき項目
D	満足度は高く、重要度が低いため、今後場合によっては満足度の低い他の項目へ優先順位をシフトしていくことを検討する必要がある項目

※上記の領域については、あくまで 24 項目の中の相対的な位置関係を示すために便宜上設定した分類であるため、A～Dは絶対的な区分ではありません。

■満足度・重要度の散布図

満足度と重要度の散布図について、「財政の健全化」「防災と危機管理」「地域医療体制」「災害に強い都市施設」などがAの領域に分類され、今後優先して充実することが求められている項目となります。

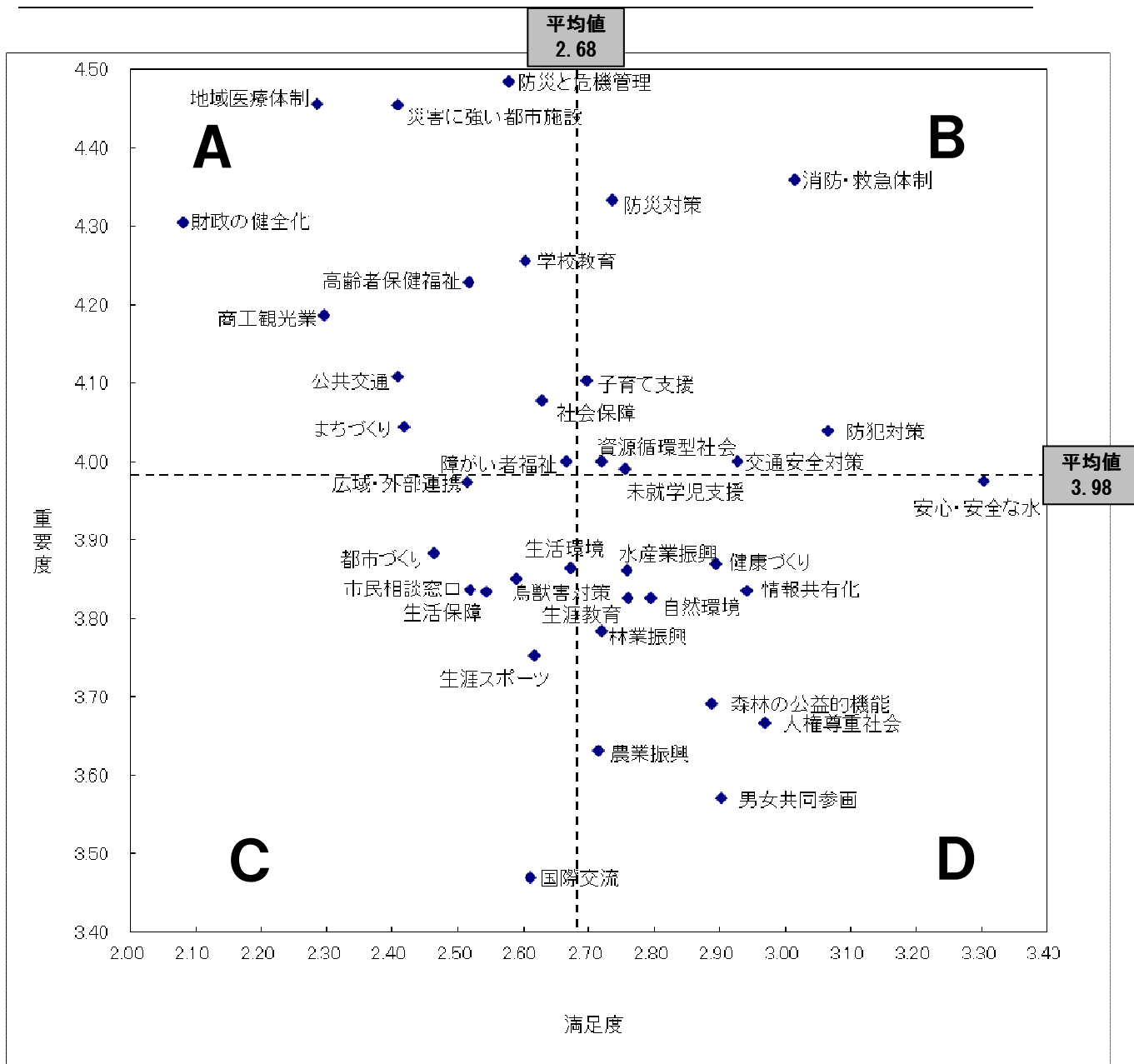
一方で、「男女共同参画」「人権尊重社会」「情報共有化」などがDの領域に分類されています。



■満足度・重要度の散布図（10代～50代）

10代～50代の満足度と重要度の散布図について、全体と概ね同様の傾向となっていますが、満足度の平均値が全体よりもやや低くなっています。

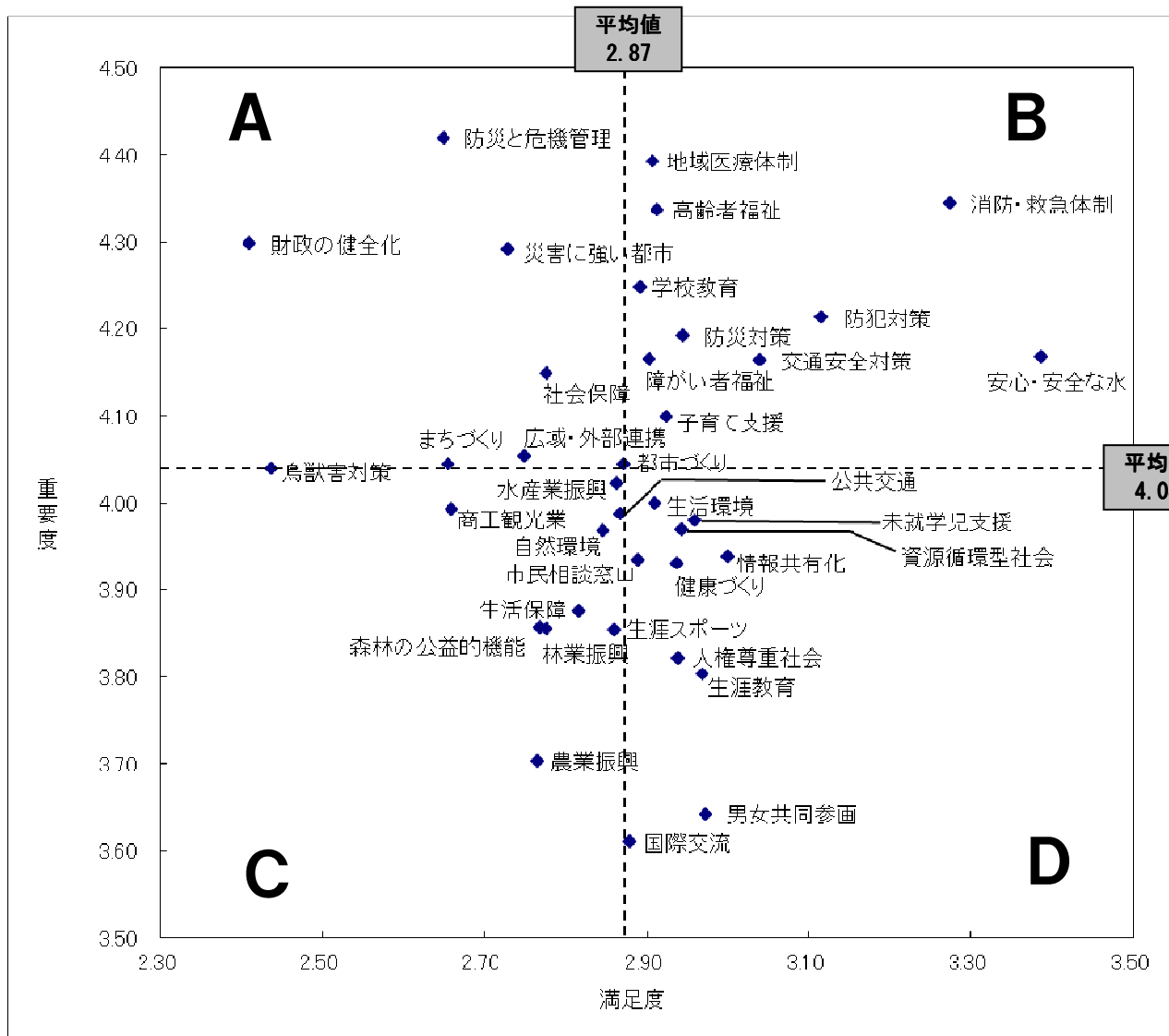
また、全体との比較では、「障がい者福祉」がBの領域からAの領域へ、「未就学児支援」と「資源循環型社会」がDの領域からBの領域へと移動しています。



■満足度・重要度の散布図（60代以上）

60代以上の満足度と重要度の散布図について、全体と概ね同様の傾向となっていますが、平均値は満足度、重要度ともに全体よりも高くなっています。

また、全体との比較では、「地域医療体制」や「高齢者福祉」「学校教育」がAの領域からBの領域へ、「公共交通」がAの領域からCの領域へ移動し、反対に「都市づくり」がCの領域からAの領域へ入れ替わるなどの移動が見られます。



■満足度・重要度一覧

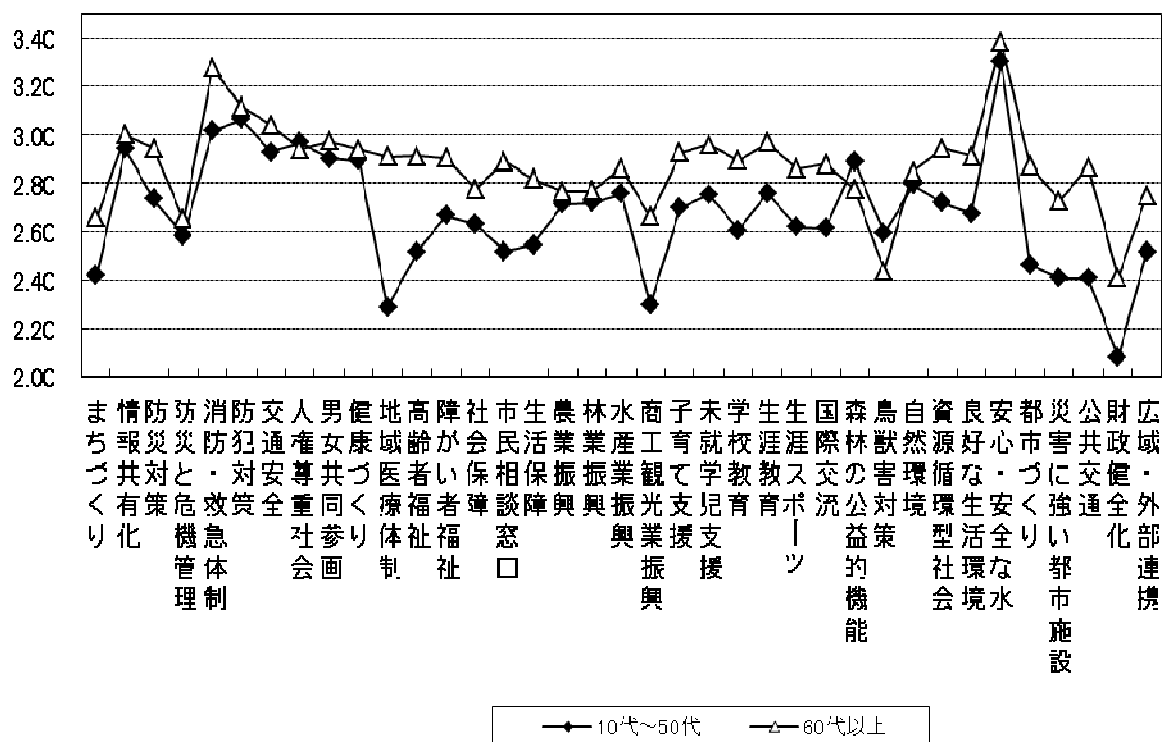
	満足度	重要度
(1) 市民参加によるまちづくり 地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど	2.56	4.04
(2) 情報共有化 広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など	2.98	3.89
(3) 市民参加による防災対策 防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど	2.86	4.25
(4) 防災と危機管理 土砂災害や雨水浸水などに対応できる都市基盤、避難場所、防災情報の提供、自主防災組織の整備、広域自治体間協力など	2.62	4.45
(5) 消防・救急体制 火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など	3.17	4.35
(6) 防犯対策 犯罪の不安を感じる事のない安全で安心な取り組みなど	3.09	4.14
(7) 交通安全 交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど	2.99	4.10
(8) 人権尊重社会 人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど	2.95	3.76
(9) 男女共同参画の推進 性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど	2.94	3.61
(10) 健康づくり ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など	2.92	3.90
(11) 地域医療体制 尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など	2.65	4.42
(12) 高齢者保健福祉 いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど	2.76	4.29
(13) 障がい者福祉 自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど	2.81	4.10
(14) 社会保障の確保 安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど	2.72	4.12
(15) 市民相談窓口の確保 必要ときに適切な相談を受けることができる取り組みなど	2.74	3.89
(16) 生活保障の確保 必要ときに適切な支援を受けることができる取り組みなど	2.71	3.86
(17) 農業振興 さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど	2.75	3.67
(18) 林業振興 経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど	2.75	3.82
(19) 水産業振興 水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど	2.82	3.95
(20) 商工観光振興 活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど	2.50	4.08
(21) 子育て支援 保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど	2.83	4.10
(22) 未就学児支援 未就学児が健やかに成長できる取り組みなど	2.87	3.98
(23) 学校教育 一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど	2.77	4.25
(24) 生涯教育の推進 文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など	2.88	3.81
(25) 生涯スポーツの推進 年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど	2.76	3.81
(26) 国際交流の推進 多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど	2.76	3.55
(27) 森林の公益的機能 適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど	2.83	3.79

(28) 鳥獣害対策の推進 野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど	2.50	3.96
(29) 自然環境 自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど	2.82	3.91
(30) 資源循環型社会の推進 ごみの発生抑制・再使用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど	2.85	3.98
(31) 良好な生活環境の保全 環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど	2.81	3.94
(32) 安全・安心な水の確保 安全で安心な水が安定供給される取り組みなど	3.35	4.09
(33) 都市づくり 安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど	2.76	3.97
(34) 災害に強い都市施設 災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど	2.59	4.36
(35) 公共交通 安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど	2.68	4.04
(36) 財政の健全化 行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど	2.27	4.30
(37) 広域・外部連携の推進 近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど	2.65	4.02
平均	2.79	4.02

■満足度×年代

満足度について年代別に見ると、ほとんどの項目で「60代以上」の方が高い割合となっていますが、「人権尊重社会」「森林の公益的機能」「鳥獣害対策」では「10代～50代」の方が高くなっています。

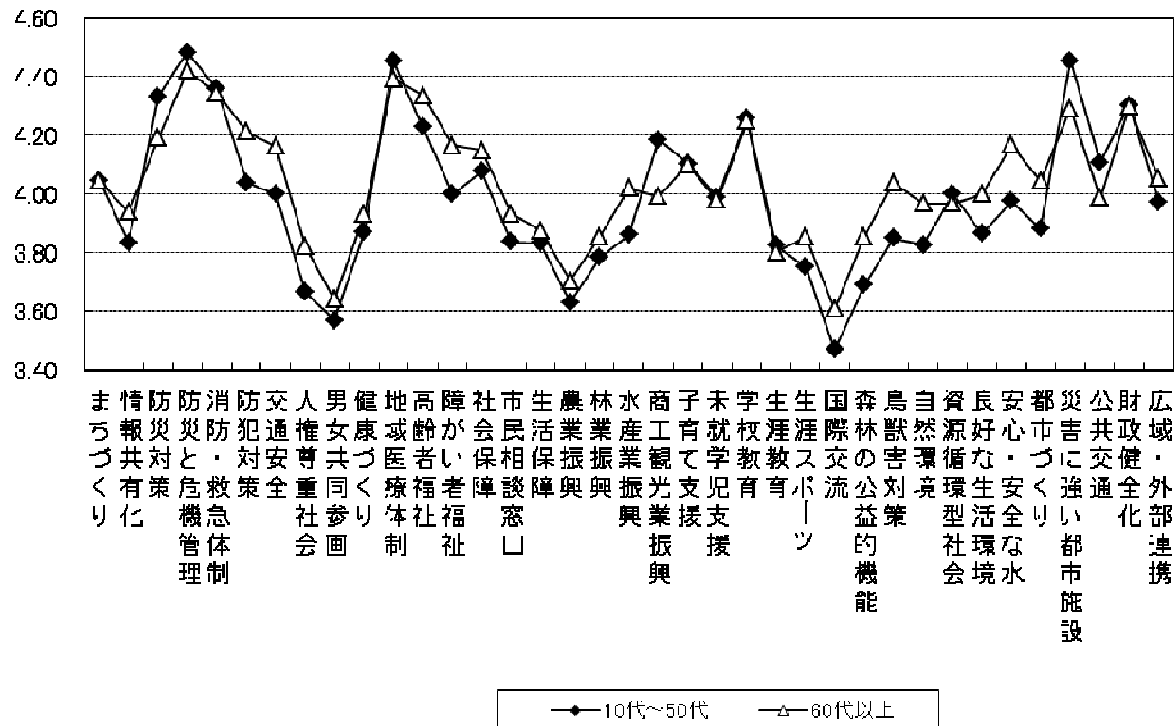
また、「地域医療体制」や「商工観光業振興」「公共交通」などでは、年代によって大きな差が見られます。



■重要度×年代

重要度について年代別に見ると、大きな傾向の差は見られず、重要と思う項目は年代に関わらず共通しているという結果になりました。

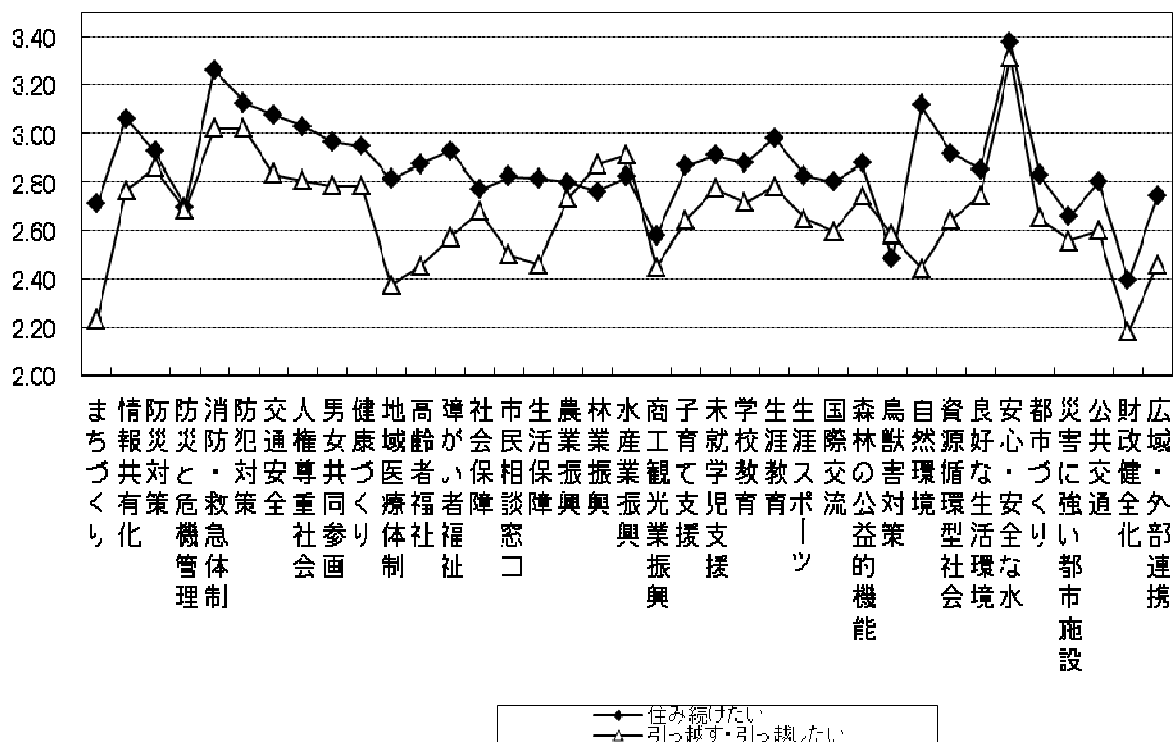
「防犯対策」「鳥獣害対策」などでは、「60代以上」の方がやや高くなっています。



■満足度×定住意向

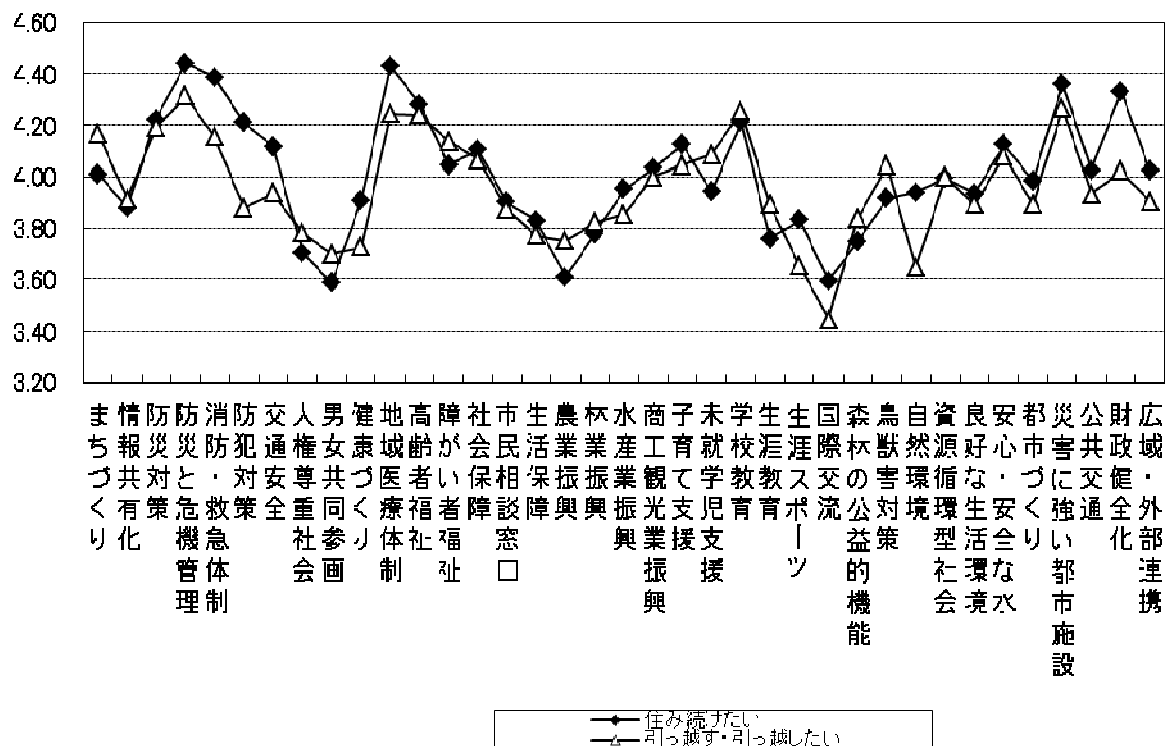
満足度について定住意向別に見ると、ほとんどの項目で「住み続けたい」を選んだ方が高い割合となっていますが、「林業振興」「水産業振興」などでは、「引っ越す・引っ越したい」を選んだ方のほうが高くなっています。

また、「まちづくり」「地域医療体制」「自然環境」などでは、定住意向によって大きな差が見られます。



■重要度×定住意向

重要度について定住意向別に見ると、大きな傾向の差は見られないものの、「防犯対策」「財政健全化」などで、「住み続けたい」を選んだ方の割合が高くなっています。



III. 調查票

あなた自身のことについておうかがいします

問1 あなたの性別をお聞かせください。(当てはまる番号を選び○で囲んでください。以下の質問も同様です。)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問2 あなたの年齢をお聞かせください。

- | | | | |
|--------|--------|----------|--------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 |
| 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 | |

問3 あなたは、尾鷲市のどの地区にお住まいですか。

- | | | |
|----------|----------|-----------|
| 1. 尾鷲地区 | 2. 須賀利地区 | 3. 九鬼早田地区 |
| 4. 北輪内地区 | 5. 南輪内地区 | |

問4 あなたの世帯の状況を教えてください。以下のどれに該当しますか。

- | |
|----------------------|
| 1. ひとり暮らし |
| 2. 夫婦のみ |
| 3. 配偶者、子どもと同居 |
| 4. 子どもと同居 |
| 5. 親と同居 |
| 6. 親、子ども、祖父母、孫などとの同居 |
| 7. その他 () |

問5 あなたの主な職業をお聞かせください。(複数の場合には主な職業のみお答えください。)

- | | | | |
|-----------------------|-------|--------|------------|
| 1. 農林業 | 2. 漁業 | 3. 自営業 | 4. 会社員・公務員 |
| 5. 自由業 (医師、弁護士、僧侶など) | | | |
| 6. パートタイマー・アルバイト・内職など | | | |
| 7. 家事 (主婦・夫、家事手伝いなど) | | | |
| 8. 学生・生徒 | | | |
| 9. 無職 | | | |
| 10. その他 () | | | |

問6 あなたが尾鷲市にお住まいになってから何年経過していますか。

- | |
|-------------|
| 1. 1年未満 |
| 2. 1～3年未満 |
| 3. 3～5年未満 |
| 4. 5～10年未満 |
| 5. 10～20年未満 |
| 6. 20年以上 |

本市での居住についておうかがいします

問7 あなたは、これからもずっと尾鷲市に住み続けたいとお考えですか。

1. ずっと住み続けたい
2. しばらくの間は住み続けたい
3. 住み続けたいが、引っ越さなければならぬ(引っ越す可能性がある) → 問8へ
4. いずれは市外に引っ越ししたい → 問9へ
5. すぐにでも引っ越ししたい → 問9へ
6. どちらともいえない

問8 【問7で「3」とお答えになった方におうかがいします。】引っ越す可能性がある理由は何ですか。以下の選択肢の中からお選びください。

1. 仕事の都合
2. 学業の都合
3. 親族の都合
4. その他 ()

問9 【問7で「4」または「5」とお答えになった方におうかがいします。】市外に引っ越ししたい理由は何ですか。

1. 雇用機会が少ないから
2. 高等教育機関などの進学環境が整っていないから
3. 娯楽・レクリエーション施設などが少ないから
4. 各種福祉政策が充実していないから
5. その他 ()

問10 あなたは、尾鷲市を全体としてどのようにお考えですか。あなたのお考えに一番近いものをお選びください。

1. 住みよいまちである
2. どちらかといえば住みよいまちである
3. どちらかといえば住みにくいまちである
4. 住みにくいまちである
5. どちらともいえない

問11 現在、あなたが不安に感じていることは何ですか。あてはまるもののうち上位2つを選んでください。

1. 老後の不安
2. 子育ての不安
3. 子どもの進学・就職に対する不安
4. 健康面での不安
5. 地震や豪雨、火災などの災害に対する不安
6. 犯罪や交通事故など安全に対する不安
7. 地球温暖化や環境汚染など環境に関する不安
8. 経済的な不安
9. 近所づきあいなど近隣の人間関係に関する不安
10. その他 ()
11. 特に不安はない

これからのまちづくりについておうかがいします

問12 あなたは、尾鷲市が将来どのようなイメージのまちになってほしいと思いますか。あてはまるもののうち上位3つまでお答えください。

1. 交通事故、犯罪などが少なく、安心して生活できるまち
2. 地震や風水害への不安が少なく、安心して生活できるまち
3. 公害や環境破壊が少なく、地球環境にやさしいまち
4. 海や山、川などの自然がたくさん残っているまち
5. 保健・医療・福祉施設が充実し、安心して元気に暮らせるまち
6. 子どもからお年寄りまで安心して元気に暮らせるまち
7. 地域で子どもを育むなど、人と人が関わり、人が育つまち
8. 子どもの教育環境によいまち
9. 働きがいのある職場が多く、活気のあるまち
10. 第一次産業（農林水産業）に活気があり、豊かな地域資源に恵まれたまち
11. にぎわいのある商業施設があり、買い物に便利なまち
12. 観光やレクリエーションのために訪れる人が多いまち
13. 道路、公園などの都市機能が充実しているまち
14. 公共交通などの移動手段が整ったまち
15. 市民主体のまちづくりが活発なまち
16. 将来にわたって健全な財政運営を行うまち
17. わからない
18. その他（)

問13 あなたは、尾鷲市がこれからまちづくりを進めるうえで、市が積極的に進めるべき取り組みは何であるとお考えですか。あてはまるもののうち上位3つまでお答えください。

1. 交通事故や犯罪などへの取り組み
2. 地震や風水害などへの防災対策
3. 地球温暖化への取り組み
4. 自然環境保護への取り組み
5. 保健・医療・福祉などの福祉施策への取り組み
6. 地域での子育て支援、高齢者の生活支援（子どもへの声かけや見守り、ひとり暮らし高齢者の見守り・声かけなど）
7. 生涯学習やスポーツ振興などへの取り組み
8. 子どもの教育環境の整備への取り組み
9. 働く場所の確保への取り組み
10. 第一次産業（農林水産業）の活性化への取り組み
11. 商業施設の活性化への取り組み
12. 観光産業などへの取り組み
13. 道路、公園などの整備、維持への取り組み
14. 公共交通などの移動手段の確保への取り組み
15. 市民主体のまちづくりを活発にする取り組み
16. 健全な財政運営を行うための行政改革への取り組み
17. わからない
18. その他（)

問14 あなたは、地区の行事やボランティアなどの活動に参加したことがありますか。以下の選択肢の中からお選びください。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 積極的に参加している | →問16へ |
| 2. ときどき参加している | →問16へ |
| 3. あまり参加したことがない | →問15へ |
| 4. 参加したことがない | →問15へ |

問15 【問14で「3」または「4」とお答えになった方におうかがいします。】
問14で「あまり参加したことがない」「参加したことがない」と回答された理由は何ですか。以下の選択肢の中からお選びください。

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1. 参加したいが、始めるきっかけや機会がない | |
| 2. 参加したいが、どこに問い合わせをすればいいのかわからない | |
| 3. 興味のある活動に対する情報がない | |
| 4. 活動に参加する時間がない | |
| 5. 活動に興味がない | |
| 6. 活動の必要性を感じない | |
| 7. 人間関係がわずらわしい | |
| 8. 地域に活動自体がない | |
| 9. その他 () | |

問16 尾鷲市ではこれから、市役所を含む市民みんなで地域の課題を解決するために、目標を共有して、その目標達成のために取り組むことを進めたいと考えています。このことについてあなたはどのように考えますか。

- | | |
|-----------------|-------|
| 1. 推進すべき | →問17へ |
| 2. ある程度推進すべき | →問17へ |
| 3. どちらとも言えない | →問18へ |
| 4. あまり推進すべきではない | →問18へ |
| 5. 推進すべきではない | →問18へ |
| 6. わからない | →問18へ |

問17 【問16で「1」または「2」とお答えになった方におうかがいします。】
市民との協働（問16の設問文の内容）のまちづくりを進めるうえで、あなたは、市がどのようなことに取り組むべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 市政情報の積極的な提供
2. 職員の意識改革など市役所の体制整備
3. 市民が活動しやすいしくみ・ルールづくり
4. 市民と市の意見交換の場の設定
5. 市民活動の活性化
6. 市民の協働意識の醸成
7. わからない
8. その他（)

【安全】

問18 あなたは、地震や台風など災害による被害を防ぐ取り組みとして、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 避難訓練や防災講座などの啓発活動の充実
2. 耐震診断や改修などの補助制度の充実
3. 防災資機材の備蓄・整備の充実
4. 災害時における連絡体制の充実
5. 施設の耐震化の充実
6. 自主防災組織への支援
7. 地域住民が主体となった防災対策の推進
8. わからない
9. その他（具体的に)

【健康づくり】

問19 あなたは、健康づくりを充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実
2. 成人病検診やがん検診など検診制度の充実
3. 健康相談・健康教室・保健師などの訪問活動の充実
4. 救急・休日・夜間・往診など医療の充実
5. スポーツによる健康づくり・体力づくり
6. 地域住民が主体となった健康づくりの推進
7. わからない
8. その他（具体的に)

【福祉】

問20 あなたは、福祉を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 高齢者や障害者が入所（入居）できる施設の整備
2. 高齢者や障害者の日中活動ができる場の充実
3. 高齢者や障害者などが生活しやすいバリアフリー化の推進
4. 地域全体で高齢者や障害者などを支える関係づくりの充実
5. 福祉制度など経済面での生活支援の充実
6. 元気高齢者の働く場の確保や障害者が自立できる就労支援策の充実
7. わからない
8. その他（具体的に)

【産業振興】

問21 あなたは、産業振興・活性化のためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. にぎわいを生む商店の活性化
2. 大型店を核とした商業地区の整備
3. 新たな産業の育成・支援
4. 地域資源の活用による地域ブランドの開発
5. 新規産物の開発などの特産品開発
6. 歴史・文化・自然などを生かした交流人口の増加による観光振興
7. 農水商工連携など産業間の連携強化による地域経済の活性化
8. わからない
9. その他（具体的に)

【子育て環境】

問22 尾鷲市も少子化が重要な課題となっています。あなたは、少子化に対応するにはどのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 妊婦や乳幼児に対する健康診査など母子保健事業の充実
2. 乳幼児医療費助成などの補助メニューの充実
3. 保育所定員の拡充
4. 子育て相談や情報提供など子育て支援サービスの充実
5. 子どもの遊び場の整備
6. 一時保育（緊急時や用事の際などに保育所で一時的に預かる制度）の充実
7. 地域住民が地域の子どもたちを見守る関係づくりの充実
8. わからない
9. その他（具体的に)

【学校教育】

問23 あなたは、学校教育を充実させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 社会のルールや命の大切さを学ぶ心教育の推進
2. 体験学習活動を通じた地域の人たちとの交流など開かれた学校づくり
3. 家庭・地域・学校が連携した地域社会における教育力向上の推進
4. 不登校やいじめなどに対応した教育の推進
5. 校舎の耐震化など、施設の改修・整備
6. 学校内や通学路における子どもの安全対策の強化や安全教育の充実
7. わからない
8. その他（具体的に)

【環境】

問24 あなたは、環境を良くするためには、どのようなことに力を入れるべきだと考えますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 電気・ガス・ガソリンなどエネルギー利用の抑制
2. 太陽光発電や緑化推進などに対する助成の充実
3. 海・山・川などの自然環境の保全
4. 資源ごみの分別などによるリサイクルの推進
5. マイバッグ利用や簡易包装などによるごみの発生抑制
6. いろいろな環境問題に取り組む市民活動への支援の充実
7. 身近な地域の美化活動などへの参加
8. わからない
9. その他（具体的に)

【市民意見の反映】

問25 あなたは、現在の市政に市民の意向がどの程度反映されていると考えていますか。

1. 十分反映されている
2. ある程度反映されている
3. あまり反映されていない
4. まったく反映されていない

問26 あなたは、できるだけ多くの市民の意向を市政に反映させるためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 市長と対話できる機会の充実
2. 市民説明会など、重要事項に関する直接的な対話機会の充実
3. 幅広い市民参加の促進
4. 審議会などへの市民参加の充実
5. アンケート調査の実施
6. パブリックコメントの充実
7. 広報紙やホームページなどによる情報提供の機会の充実
8. わからない
9. その他（具体的に)

※パブリックコメントとは、政策等の意思形成過程において、その案等を公表し、広く市民の意見・情報を求め、寄せられた意見などを考慮して意思決定を行うものです。

【行政改革】

問27 あなたは、効果的かつ効率的な行政サービスを提供するためには、どのような方策が必要だと思いますか。あてはまるもののうち上位2つまでお答えください。

1. 事業を見直し、必要に応じて統合あるいは廃止する
2. 市民ニーズに合わせて市役所の組織をつくり直す
3. 市職員の意識改革や能力開発のための研修を行う
4. 市内の各種団体を対象に出される補助金を、必要に応じて統合あるいは廃止する
5. サービスにより利益を受ける市民に適切な費用を負担してもらう
6. 施設の統合・廃止や他施設との複合化を図る
7. 必要に応じて業務を民間委託する
8. 市の職員数を見直す
9. 市職員の給与水準を見直す
10. わからない
11. その他（具体的に)

暮らしの満足度と今後の重要度についておうかがいします

問28 市が実施している取り組みやサービスについて、現在の「満足度」と今後の「重要度」をお聞かせください。次の(1)～(37)の各項目について、あなたの考えに近いものを「満足度」と「重要度」の中からそれぞれ1つずつお答えください。

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(1) 市民参加によるまちづくり (地域課題を解決するため、共に話し合い、活動している取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(2) 情報共有化の推進 (広報紙、市ホームページなどによる行政情報の提供など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(3) 市民参加による防災対策 (防災体制づくりの自立的・持続的な取り組みや、安全で安心な取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(4) 防災と危機管理 (介護保険サービス、介護保険サービスの対象とならない在宅高齢者への福祉サービス、ひとり暮らしや虚弱な高齢者への安否確認など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(5) 消防・救急体制の充実 (火災や地震災害等における消火・救急・救助活動確保のための人員体制及び車両・資機材の整備、また、応急手当の普及講習、消防団との連携など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(6) 防犯対策の推進 (犯罪の不安を感じる事のない安全で安心な取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(7) 交通安全対策の推進 (交通安全意識が高まり、交通事故に遭わない、交通事故が起きない取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(8) 人権尊重社会の実現 (人権に関する学習会や人権相談など、一人ひとりが互いに人権を尊重し合う取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(9) 男女共同参画の推進 (性別にとらわれず、それぞれのライフスタイルや価値観を尊重し合う取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(10) 健康づくりの推進 (ライフステージに応じた健康づくり事業、母子保健事業・介護予防事業など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(11) 地域医療体制の確保 (尾鷲総合病院の診療体制や設備、地域内の医院・診療所など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(12) 高齢者保健福祉の推進 (いつまでも元気に社会のなかで活躍し、介護が必要となっても住み慣れた地域で暮らすことができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(13) 障がい者福祉の推進 (自立支援などの福祉サービスにより、住み慣れた地域で暮らせる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(14) 社会保障の確保 (安心して生活ができる、社会保障制度が健全に運営される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(15) 市民相談窓口の確保 (必要なときに適切な相談を受けることができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(16) 生活保障の確保 (必要なときに適切な支援を受けることができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(17) 農業・関連産業の振興 (さまざまな形態の農業活動が行われ、農地の保全・管理、活用がされる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(18) 林業・関連産業の振興 (経営基盤が強化され、施業を継続的に実施できる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(19) 水産業・関連産業の振興 (水揚げ量の拡大、生産体系の見直しや生産性及び付加価値の向上により、水産業が持続できる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(20) 商工観光業の振興 (活発な産業活動により、魅力ある雇用の場が創出される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(21) 子育て支援の推進 (保育サービス、子育てに関する相談体制や情報提供、放課後の子どもの安全な活動場所などの環境づくりなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(22) 未就学児への支援 (未就学児が健やかに成長できる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(23) 学校教育の充実 (一人ひとりの個性や能力を伸ばし、確かな学力、豊かな心、健康な体づくりにより、笑顔いっぱいの子どもを育む取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(24) 生涯教育の推進 (文化・生涯学習を行うための設備の管理、その指導者の育成支援など)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(25) 生涯スポーツの推進 (年齢、体力、好みに応じて多くのスポーツに触れ、楽しくスポーツが親しめる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(26) 国際交流の推進 (多様な交流ができ、国際感覚豊かな人づくりがされる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(27) 森林の公益的機能の保全 (適正に管理・保全され、森林の公益的機能が確保される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(28) 鳥獣害対策の推進 (野生鳥獣との共生を図り、鳥獣害が発生しない取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(29) 自然環境の保全 (自然環境や生態系に配慮し、良好な自然が残る取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(30) 資源循環型社会の推進 (ごみの発生抑制・再使用・再生利用が進んだ、環境に負荷をかけない取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(31) 良好な生活環境の保全 (環境負荷を低減し、快適な生活が営める取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(32) 安全・安心な水の確保 (安全で安心な水が安定供給される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(33) 都市づくりの推進 (安心して暮らせる都市基盤が整備される取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(34) 災害に強い都市施設の推進 (災害に強い都市施設により、安心して快適に暮らせる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(35) 公共交通の確保 (安全で利便性が高く、環境にやさしい公共交通により快適に暮らし、移動ができる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

	現在の満足度						今後の重要度					
	1 満足	2 どちらかといえば満足	3 普通	4 どちらかといえば不満	5 不満	6 わからない	1 重要	2 どちらかといえば重要	3 現状のまま	4 どちらかといえば重要でない	5 重要でない	6 わからない
(36) 財政の健全化 (行政組織のスリム化などの構造改革、財政運営の見直し、職員の意識改革を行い、持続可能な行政体質への変革を図るなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6
(37) 広域・外部連携の推進 (近隣市町や産学官の連携、共創による新たなまちづくりがされる取り組みなど)	1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6

自由意見

問29 10年後の尾鷲市を住みやすいまちにするために、どのようなことが必要だと思いますか。あなたのご意見をご自由にお書きください。

～以上、ご協力ありがとうございました～

ご記入いただいた調査票は、無記名のまま、同封の返信用封筒（切手は不要）に入れて、

3月31日(月)までにご投函ください。